

第 2 章

知的障害者を対象とした調査

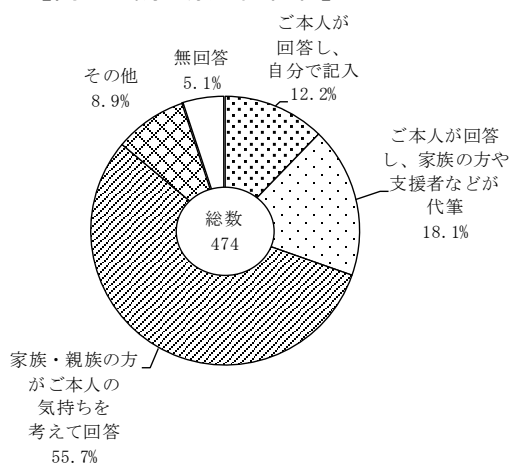
1. 本人について

(1) 調査票の回答者

問1 この調査に回答されているのはどなたですか。
あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

「家族・親族の方がご本人の気持ちを考えて回答」が55.7%と最も多く、次いで「ご本人が回答し、家族の方や支援員などが代筆」が18.1%、「ご本人が回答し、自分で記入」が12.2%となっています。

【問1 調査票の回答者】



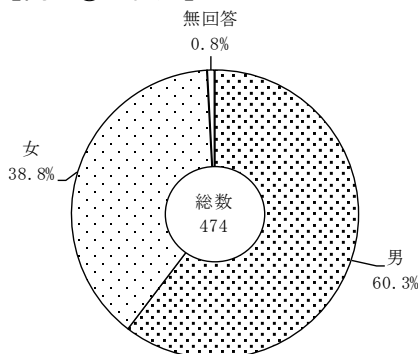
(2) 性別・年齢

問2 あなたの性別に○をつけ、年齢を記入してください。

①性別

「男」は60.3%、「女」は38.8%となっています。

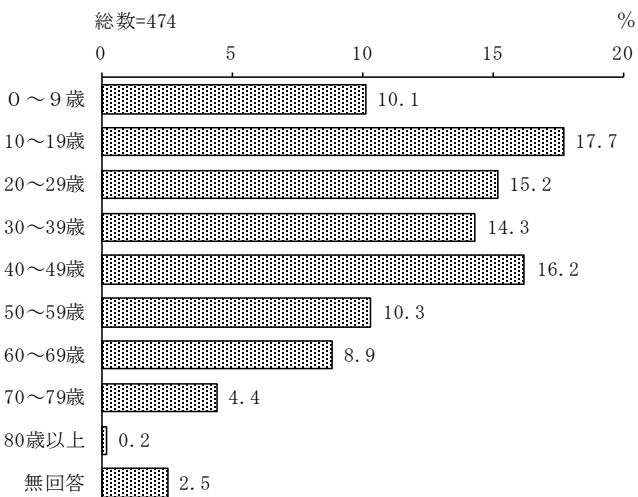
【問2① 性別】



②年齢

「10～19歳」が17.7%と最も多く、次いで「40～49歳」が16.2%、「20～29歳」が15.2%、「30～39歳」が14.3%となっています。

【問2② 年齢】

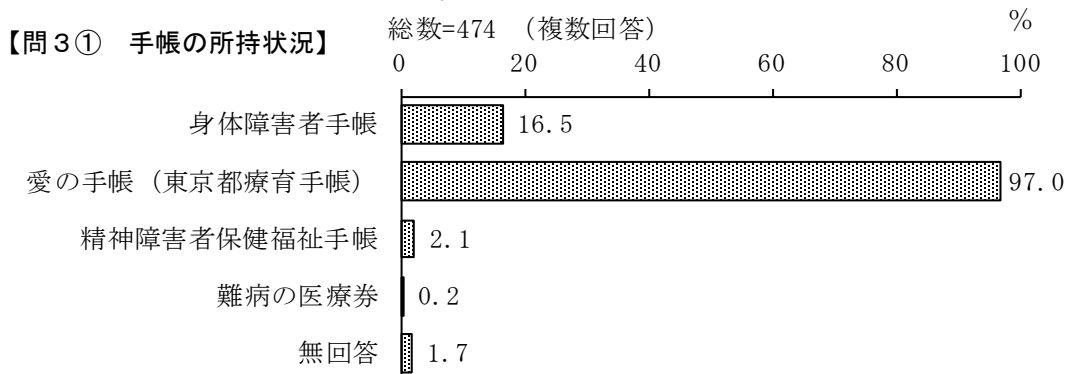


(3) 手帳の所持状況

問3 あなたのお持ちの手帳に○をつけ、その障害の程度を記入してください。申請中のものがあれば、【申請中】に○をつけてください。

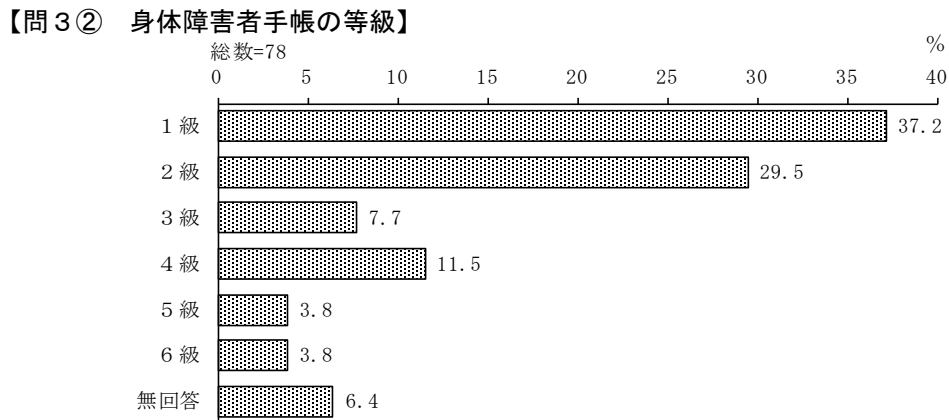
①手帳の所持状況

「愛の手帳（東京都療育手帳）」が97.0%、「身体障害者手帳」が16.5%、「精神障害者保健福祉手帳」が2.1%となっています。



②身体障害者手帳の等級

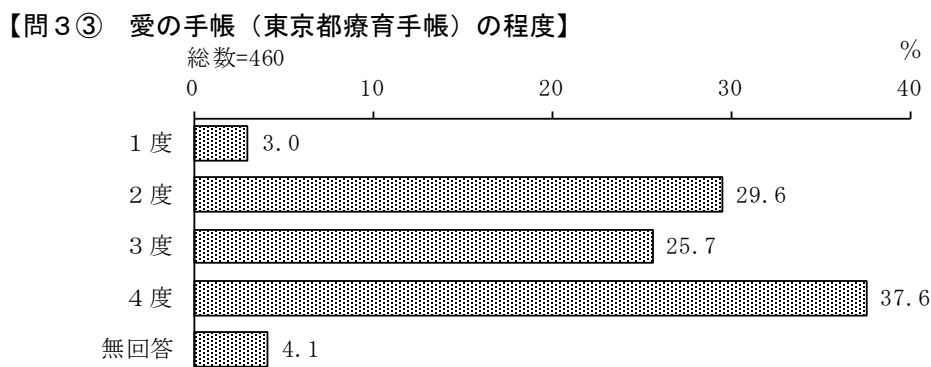
「1級」が37.2%と最も多く、次いで「2級」が29.5%、「4級」が11.5%、「3級」が7.7%となっています。



※数字が小さい程、重度であることを表しています。

③愛の手帳（東京都療育手帳）の程度

「4度」が37.6%と最も多く、次いで「2度」が29.6%、「3度（中度）」が25.7%となっています。



- 62 - ※数字が小さい程、重度であることを表しています。

④精神障害者保健福祉手帳の等級

10人中5人が「2級」、3人が「3級」、2人が「1級」と回答しています。

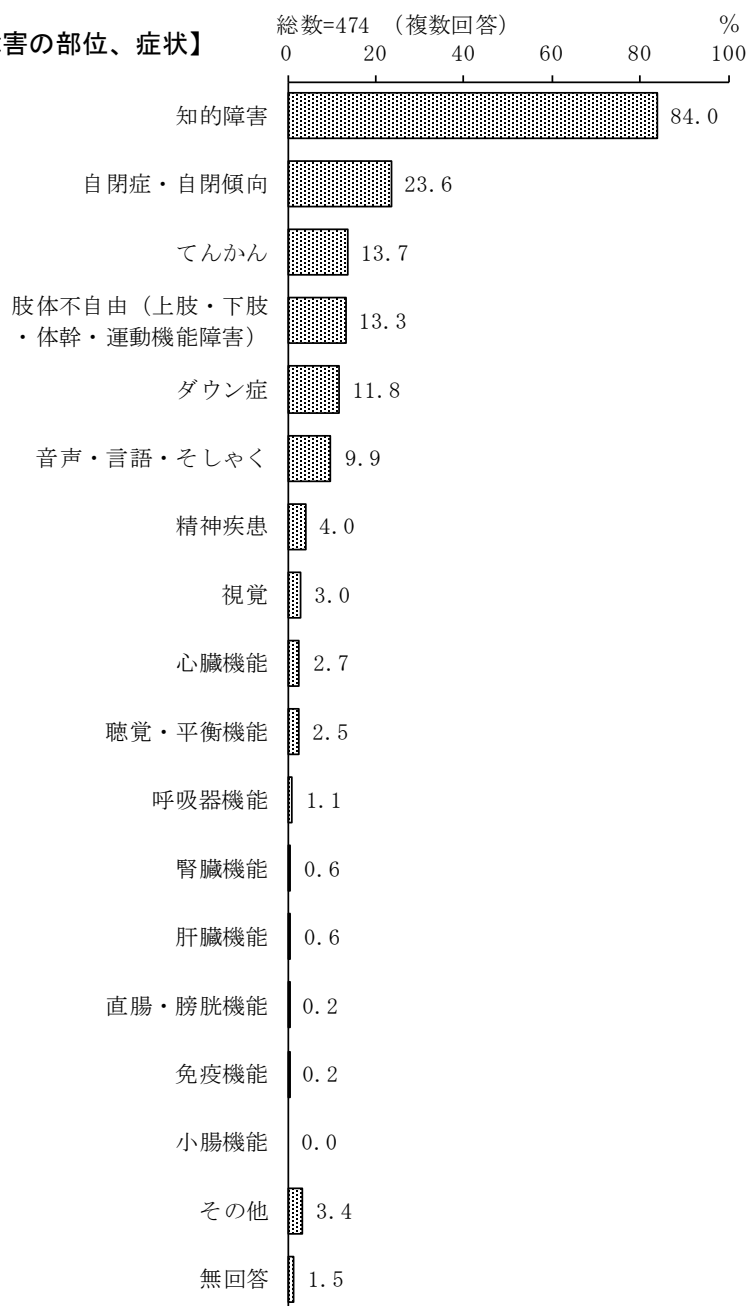
(4) 障害の部位、症状

問4 あなたの障害の部位、症状について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

「肢体不自由」を選んだ方は()の中についても○をつけてください。

「知的障害」が84.0%と最も多く、次いで「自閉症・自閉傾向」が23.6%、「てんかん」の13.7%、「肢体不自由（上肢・下肢・体幹・運動機能障害）」が13.3%、「ダウン症」が11.8%となっています。

【問4 障害の部位、症状】

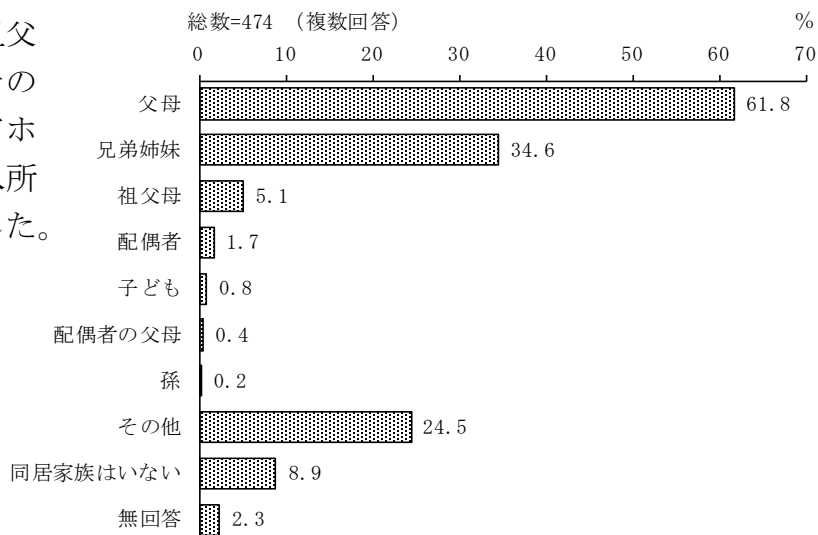


(5) 同居家族

問5 あなたは、現在どなたと一緒に暮らしていますか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

「父母」が61.8%と最も多く、次いで「兄弟姉妹」が34.6%、「祖父母」が5.1%となっています。「その他」では、「グループホーム・ケアホームに入居している」、「施設に入所している」などの回答がありました。

【問5A 同居家族】



「父母」という回答の割合は50歳未満で多く、「その他」という回答の割合は50歳以上で多くなっています。「その他」の中では「障害者施設に入所している」、「高齢者施設に入所している」という回答が多くなっています。

【問5B 同居家族 (年齢別)】

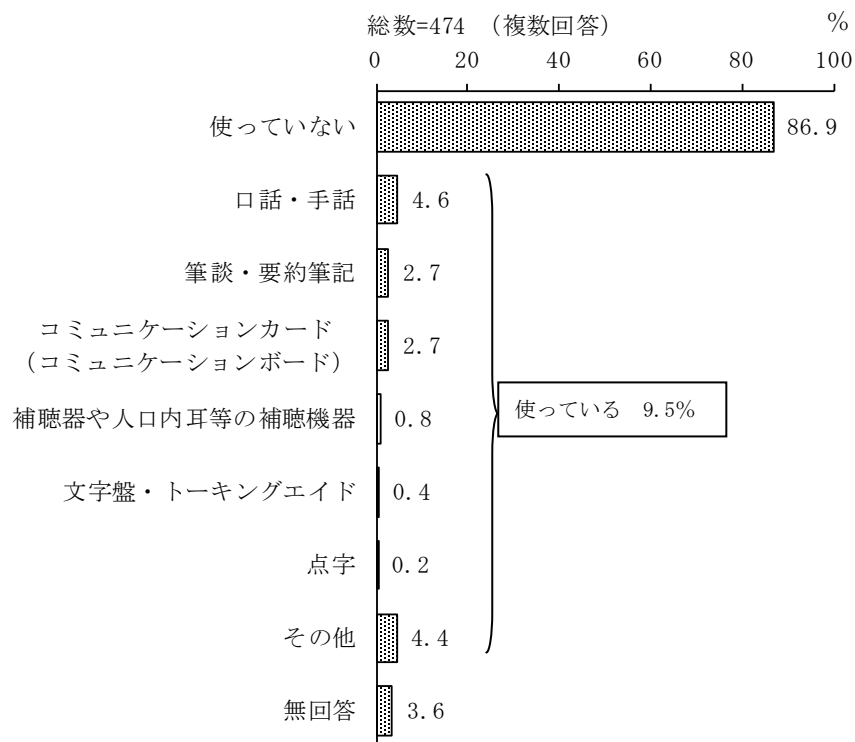
上段：実数 下段：割合	全体	配偶者	子ども	孫	父母	配偶者の父母	兄弟姉妹	祖父母	その他	同居家族はいない	無回答	
	全体	474 100.0	8 1.7	4 0.8	1 0.2	293 61.8	2 0.4	164 34.6	24 5.1	116 24.5	42 8.9	11 2.3
年齢別	0～11歳	66 100.0	1 1.5	1 1.5	-	63 95.5	-	40 60.6	6 9.1	4 6.1	-	-
	12～17歳	49 100.0	-	-	-	46 93.9	-	37 75.5	4 8.2	4 8.2	-	-
	18～29歳	89 100.0	-	-	-	73 82.0	2 2.2	44 49.4	10 11.2	10 11.2	4 4.5	3 3.4
	30～39歳	68 100.0	2 2.9	2 2.9	-	43 63.2	-	12 17.6	3 4.4	19 27.9	2 2.9	3 4.4
	40～49歳	77 100.0	2 2.6	1 1.3	-	36 46.8	-	11 14.3	1 1.3	25 32.5	12 15.6	1 1.3
	50～59歳	49 100.0	2 4.1	-	1 2.0	18 36.7	-	4 8.2	-	19 38.8	8 16.3	1 2.0
	60～64歳	26 100.0	-	-	-	2 7.7	-	-	-	17 65.4	7 26.9	-
	65～69歳	16 100.0	-	-	-	1 6.3	-	3 18.8	-	9 56.3	4 25.0	-
	70～74歳	20 100.0	1 5.0	-	-	3 15.0	-	7 35.0	-	7 35.0	4 20.0	1 5.0
	75歳以上	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	2 100.0	-	-
	無回答	12 100.0	-	-	-	8 66.7	-	6 50.0	-	-	1 8.3	2 16.7

(6) 意思伝達手段

問6 あなたは、意思の伝達をする場合（話をしたり、聞いたりする時に）、特別な技術や用具を使っていますか。あてはまるものすべてを選び、○をつけてください。

「使っていない」が86.9%と最も多くなっています。使っている方の中では「口話・手話」が4.6%となっています。

【問6 意思伝達手段】



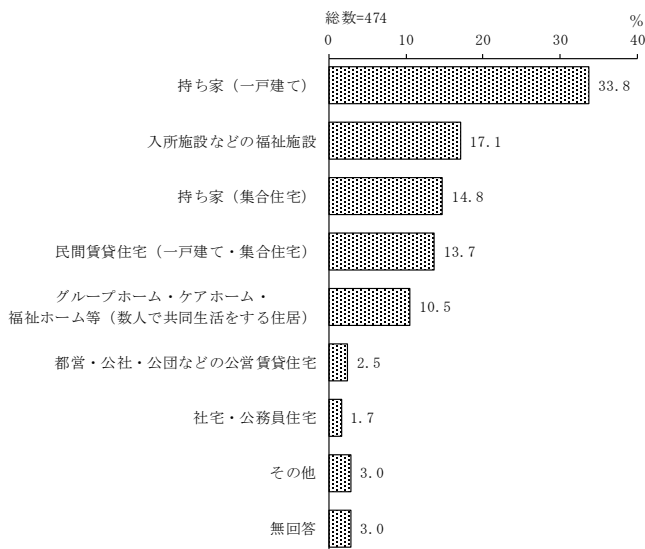
2. 住居について

(1) 住まいの種類

問7 あなたのお住まいについてお聞きします。
あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

「持ち家（一戸建て）」が 33.8%と最も多く、次いで「入所施設などの福祉施設」が 17.1%、「持ち家（集合住宅）」が 14.8%、「民間賃貸住宅（一戸建て・集合住宅）」が 13.7%、「グループホーム・ケアホーム・福祉ホーム等（数人で共同生活をする住居）」が 10.5%となっています。

【問7A 住まいの種類】



「持ち家（一戸建て）」という回答の割合は 40 歳未満で多く、「入所施設などの福祉施設」という回答の割合は 50～69 歳で多くなっています。

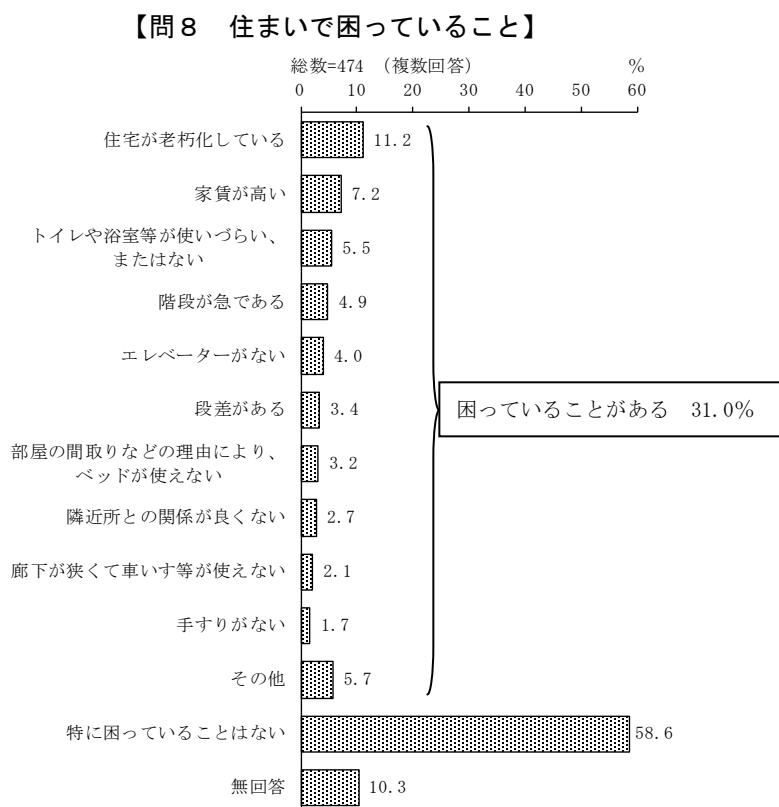
【問7B 住まいの種類（年齢別）】

	全体	持ち家（一戸建て）	持ち家（集合住宅）	民間賃貸住宅（一戸建て・集合住宅）	社宅・公務員住宅	都営・公社・公団などの公営賃貸住宅	共同生活をする住居（グループホーム・ケアホーム・福祉ホーム等）	入所施設などの福祉施設	その他	無回答	
											上段：実数
全体	474	160	70	65	8	12	50	81	14	14	
	100.0	33.8	14.8	13.7	1.7	2.5	10.5	17.1	3.0	3.0	
年齢別	0～11歳	66	25	15	19	2	-	-	2	1	2
		100.0	37.9	22.7	28.8	3.0	-	-	3.0	1.5	3.0
	12～17歳	49	19	11	12	2	-	1	1	1	2
		100.0	38.8	22.4	24.5	4.1	-	2.0	2.0	2.0	4.1
	18～29歳	89	35	16	19	3	-	4	6	4	2
		100.0	39.3	18.0	21.3	3.4	-	4.5	6.7	4.5	2.2
	30～39歳	68	29	10	2	-	7	8	9	2	1
		100.0	42.6	14.7	2.9	-	10.3	11.8	13.2	2.9	1.5
	40～49歳	77	19	10	7	1	2	15	19	2	2
		100.0	24.7	13.0	9.1	1.3	2.6	19.5	24.7	2.6	2.6
	50～59歳	49	15	4	2	-	1	11	16	-	-
		100.0	30.6	8.2	4.1	-	2.0	22.4	32.7	-	-
60～64歳	26	1	1	3	-	3	3	16	-	1	
	100.0	3.8	3.8	11.5	-	3.8	11.5	61.5	-	3.8	
65～69歳	16	3	-	-	-	1	2	8	1	1	
	100.0	18.8	-	-	-	6.3	12.5	50.0	6.3	6.3	
70～74歳	20	8	-	1	-	-	6	1	2	2	
	100.0	40.0	-	5.0	-	-	30.0	5.0	10.0	10.0	
75歳以上	2	-	-	-	-	-	-	2	-	-	
	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	
無回答	12	6	3	-	-	-	-	1	1	1	
	100.0	50.0	25.0	-	-	-	-	8.3	8.3	8.3	

(2) 住まいで困っていること

問8 あなたは現在のお住まいで困っていることはありますか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

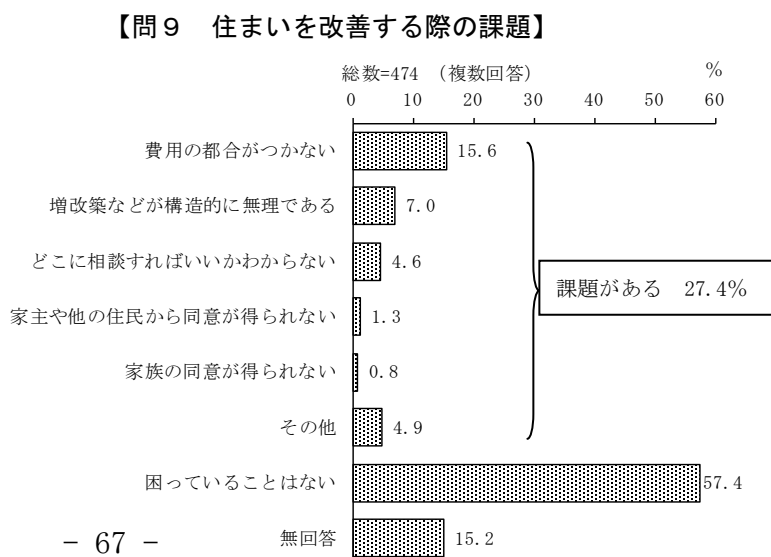
困っていることがある方の中では、「住宅が老朽化している」が11.2%と最も多く、次いで「家賃が高い」が7.2%、「トイレや浴室等が使いづらい、またはない」が5.5%となっています。「特に困っていることはない」は58.6%でした。



(3) 住まいを改善する際の課題

問9 現在のお住まいを改善する際に、課題となることはありますか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

課題がある方の中では、「費用の都合がつかない」が15.6%と最も多く、次いで「増改築などが構造的に無理である」が7.0%、「どこに相談すればいいかわからない」が4.6%となっています。「困っていることはない」は57.4%でした。



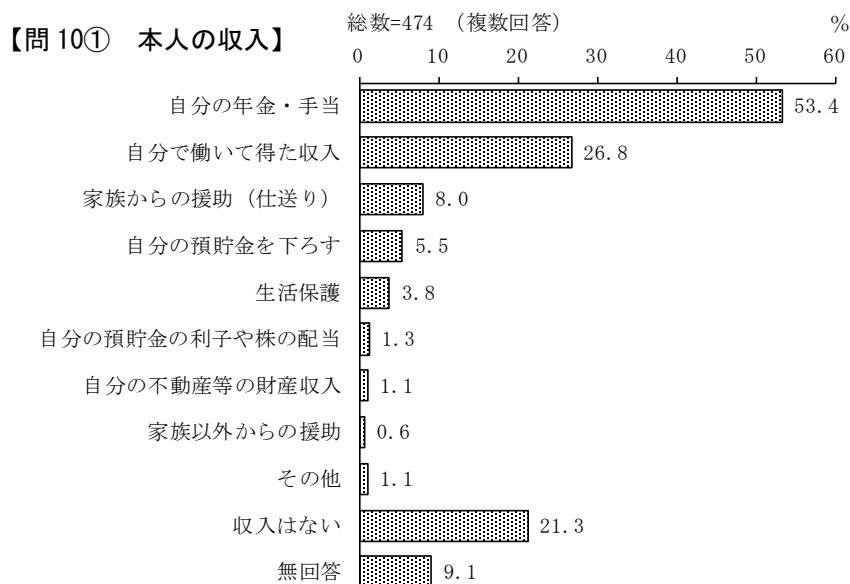
3. 収入・年金について

(1) 本人の収入・世帯全体の収入

問 10 あなたの世帯はどのような収入をもとに暮らしていますか。次の収入を得ている方法について、あてはまるものすべてを選び、○をつけてください。なお、おひとりでお住まいの方は、あなた自身の収入についてのみ、回答してください。

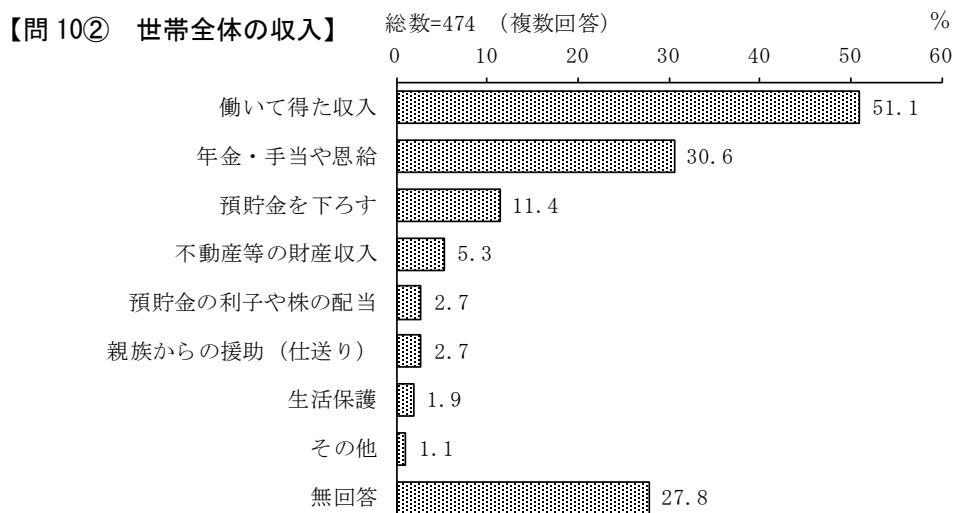
①本人の収入

「自分の年金・手当」が53.4%と最も多く、次いで「自分で働いて得た収入」が26.8%、「家族からの援助(仕送り)」が8.0%、「自分の預貯金を下ろす」が5.5%となっています。



②世帯全体の収入

「働いて得た収入」が51.1%と最も多く、次いで「年金・手当や恩給」が30.6%、「預貯金を下ろす」が11.4%、「不動産等の財産収入」が5.3%となっています。

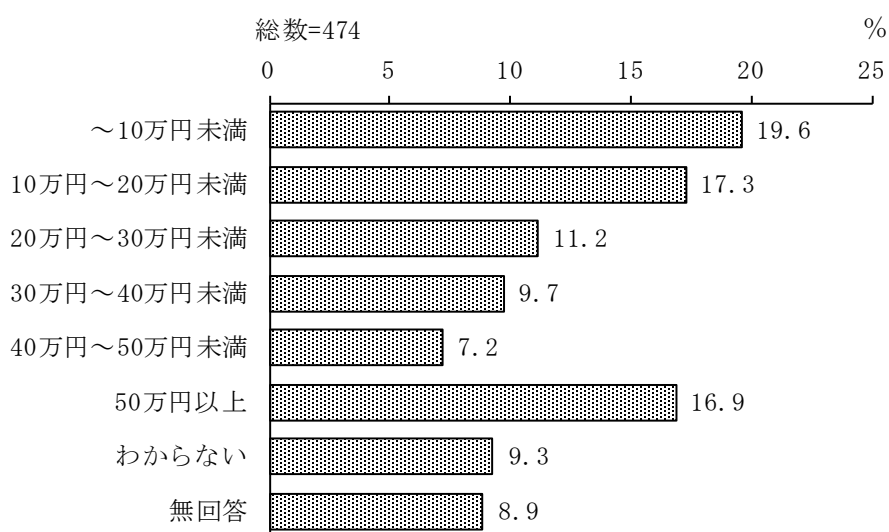


(2) 世帯の収入額

問 11 年金・手当・仕送りなどをすべて合わせて、あなたの世帯の1か月の収入はおよそいくらですか。あてはまるものを1つ選び、○をつけてください。

「～10万円未満」が19.6%と最も多く、次いで「10万円～20万円未満」が17.3%、「50万円以上」が16.9%、「20万円～30万円未満」が11.2%、「30万円～40万円未満」が9.7%となっています。

【問 11A 世帯の収入額】



家族と同居している方では「50万円以上」が最も多いのに対し、一人暮らしの方とその他の方（施設入所者など）では「～10万円未満」が最も多くなっています。

【問 11B 世帯の収入額（家族構成別）】

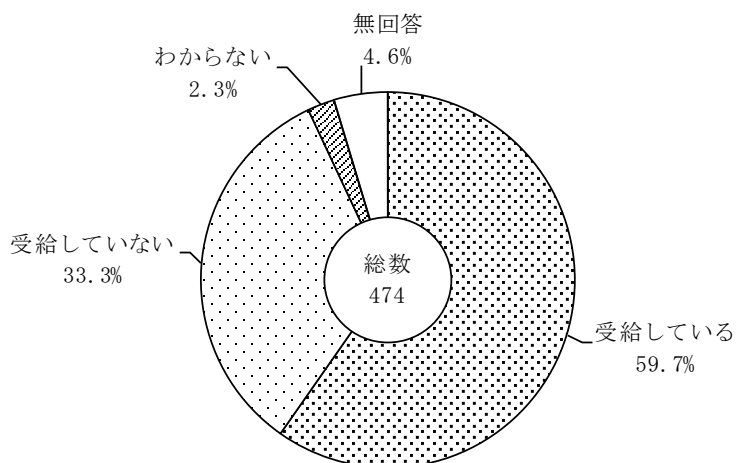
	全体	～10万円未満	1	2	3	4	5	わからない	無回答	
			0万円未満	0万円未満	0万円未満	0万円未満	0万円以上			
上段：実数	474	93	82	53	46	34	80	44	42	
下段：割合	100.0	19.6	17.3	11.2	9.7	7.2	16.9	9.3	8.9	
家族構成	家族と同居	318	23	50	47	42	33	72	26	25
		100.0	7.2	15.7	14.8	13.2	10.4	22.6	8.2	7.9
	一人暮らし	42	21	9	-	-	-	3	4	5
		100.0	50.0	21.4	-	-	-	7.1	9.5	11.9
その他	103	46	20	5	3	1	4	14	10	
	100.0	44.7	19.4	4.9	2.9	1.0	3.9	13.6	9.7	
無回答	11	3	3	1	1	-	1	-	2	
	100.0	27.3	27.3	9.1	9.1	-	9.1	-	18.2	

(3) 障害年金の受給状況

問 12-① あなたは障害基礎年金や障害厚生年金を受給していますか。
あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

「受給している」が 59.7%、「受給していない」が 33.3%となっています。

【問 12-① 障害年金の受給状況】

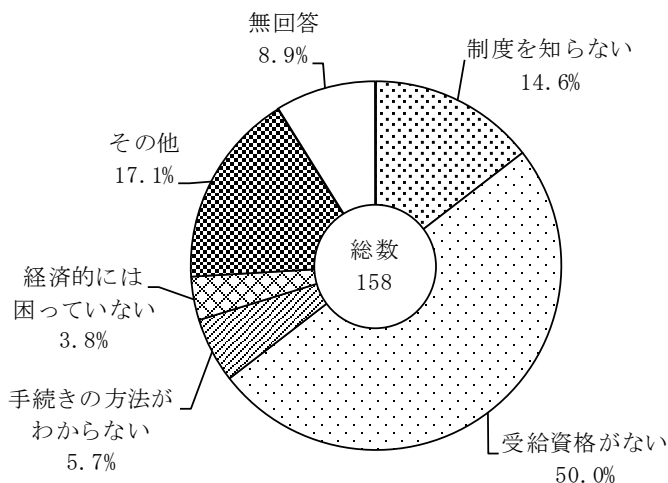


(4) 障害年金を受給していない理由

問 12-② 問 12-①で「受給していない」と答えた方にお聞きします。障害基礎年金や障害厚生年金を受給していない理由について、あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

「受給資格がない」が 50.0%と最も多く、次いで「制度を知らない」が 14.6%、「手続きの方法がわからない」が 5.7%となっています。

【問 12-② 障害年金を受給していない理由】



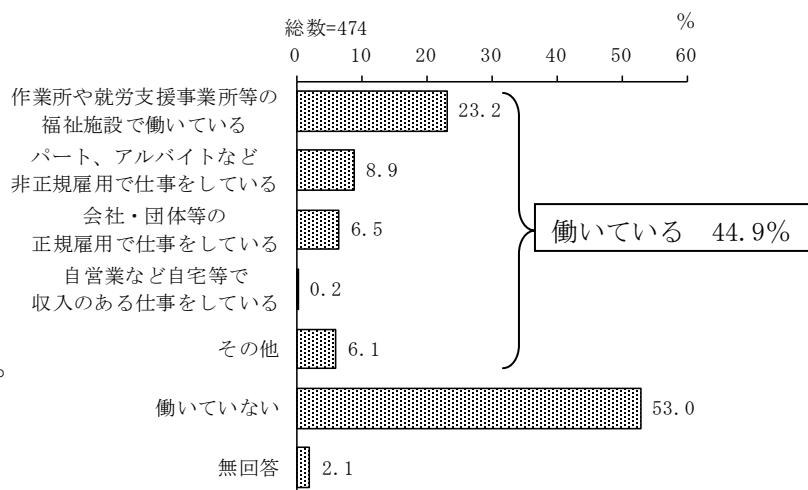
4. 就労の状況について

(1) 就労状況

問 13-① あなたは、現在仕事をしていますか。
あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

「作業所や就労支援事業所等の福祉施設で働いている」が23.2%と最も多く、次いで「パート、アルバイトなど非正規雇用で仕事をしている」が8.9%、「会社・団体等の正規雇用で仕事をしている」が6.5%となっています。「働いている」という回答は合わせて44.9%、「働いていない」という回答は53.0%でした。

【問 13-①A 就労状況】



「作業所や就労支援事業所等の福祉施設で働いている」という回答の割合は18～29歳と50～59歳で多くなっています。それ以外の年齢層では「働いていない」という回答の割合が多くなっています。また、就労期(18～64歳)に限ってみると、働いている人は61.8%、働いていない人は36.6%となっています。

【問 13-①B 就労状況 (年齢別)】

	全体	働いている						働いていない	無回答
		会社・団体等の正規雇用で仕事をしている	パート、アルバイトなど非正規雇用で仕事をしている	自営業など自宅等で収入のある仕事をしている	福祉施設や就労支援事業所等の	その他			
全体	474 100.0	31 6.5	42 8.9	1 0.2	110 23.2	29 6.1	251 53.0	10 2.1	
年齢別	0～11歳	66 100.0	1 1.5	-	-	1 1.5	2 3.0	61 92.4	1 1.5
	12～17歳	49 100.0	-	-	-	-	4 8.2	42 85.7	3 6.1
	18～29歳	89 100.0	10 11.2	20 22.5	-	32 36.0	5 5.6	22 24.7	-
	30～39歳	68 100.0	9 13.2	10 14.7	-	16 23.5	7 10.3	25 36.8	1 1.5
	40～49歳	77 100.0	9 11.7	6 7.8	-	21 27.3	4 5.2	36 46.8	1 1.3
	50～59歳	49 100.0	1 2.0	1 2.0	-	26 53.1	4 8.2	16 32.7	1 2.0
	60～64歳	26 100.0	-	1 3.8	1 3.8	7 26.9	1 3.8	14 53.8	2 7.7
	65～69歳	16 100.0	-	1 6.3	-	1 6.3	-	13 81.3	1 6.3
	70～74歳	20 100.0	1 5.0	-	-	6 30.0	1 5.0	12 60.0	-
	75歳以上	2 100.0	-	-	-	-	-	2 100.0	-
	無回答	12 100.0	-	3 25.0	-	-	1 8.3	8 66.7	-

「作業所や就労支援事業所等の福祉施設で働いている」という回答の割合は2度、3度で多くなっています。「会社・団体等の正規雇用で仕事をしている」、「パート、アルバイトなど非正規雇用で仕事をしている」という回答は3度、4度で見られました。

【問 13-①C 就労状況（障害の程度別）】

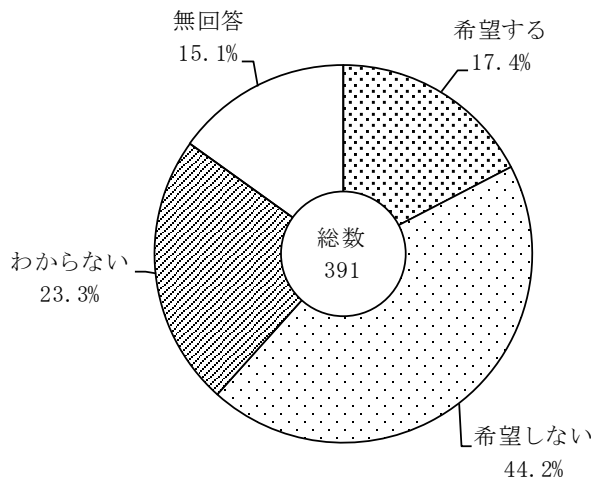
上段：実数 下段：割合		全体	正 規 雇 用 で 仕 事 を し て い る	非 正 規 雇 用 で 仕 事 を し て い る	自 営 業 な ど 自 宅 等 で 仕 事 を し て い る	福 祉 施 設 等 で 働 い て い る	そ の 他	働 い て い な い	無 回 答
		全体	460 100.0	28 6.1	41 8.9	1 0.2	109 23.7	28 6.1	243 52.8
障 害 の 程 度	1度	14 100.0	-	-	-	1 7.1	2 14.3	11 78.6	-
	2度	136 100.0	-	-	-	36 26.5	8 5.9	89 65.4	3 2.2
	3度	118 100.0	4 3.4	12 10.2	-	38 32.2	10 8.5	52 44.1	2 1.7
	4度	173 100.0	23 13.3	28 16.2	1 0.6	28 16.2	8 4.6	81 46.8	4 2.3
	無回答	19 100.0	1 5.3	1 5.3	-	6 31.6	-	10 52.6	1 5.3

(2) 一般企業への就職の希望

問 13-② 問 13-①で「自営業等、自宅で働いている」、「福祉施設等で働いている」、「働いていない」等と答えた方にお聞きします。あなたは一般企業（非正規雇用を含む）への就職を希望しますか。あてはまるものを1つ選び、○をつけてください。

「希望しない」が44.2%、「希望する」が17.4%となっています。

【問 13-②A 一般企業への就職の希望】



「希望する」という回答の割合は、家族・親族の方がご本人の気持ちを考えて回答した場合より、ご本人が回答した場合のほうが多くなっています。

【問 13-②B 一般企業への就職の希望（調査票の回答者別）】

上段：実数 下段：割合		全 体	希 望 す る	希 望 し な い	わ か ら な い	無 回 答
全体		391 100.0	68 17.4	173 44.2	91 23.3	59 15.1
調 査 票 の 回 答 者	ご本人が回答し、 自分で記入	35 100.0	12 34.3	13 37.1	5 14.3	5 14.3
	ご本人が回答し、家族の方 や支援員などが代筆	62 100.0	15 24.2	27 43.5	15 24.2	5 8.1
	家族・親族の方がご本人の 気持ちを考えて回答	235 100.0	39 16.6	105 44.7	53 22.6	38 16.2
	その他	40 100.0	1 2.5	21 52.5	12 30.0	6 15.0
	無回答	19 100.0	1 5.3	7 36.8	6 31.6	5 26.3

「希望する」という回答の割合は 30 歳未満でやや多く、特に 12～17 歳では最も多くなっています。

【問 13-②C 一般企業への就職の希望（年齢別）】

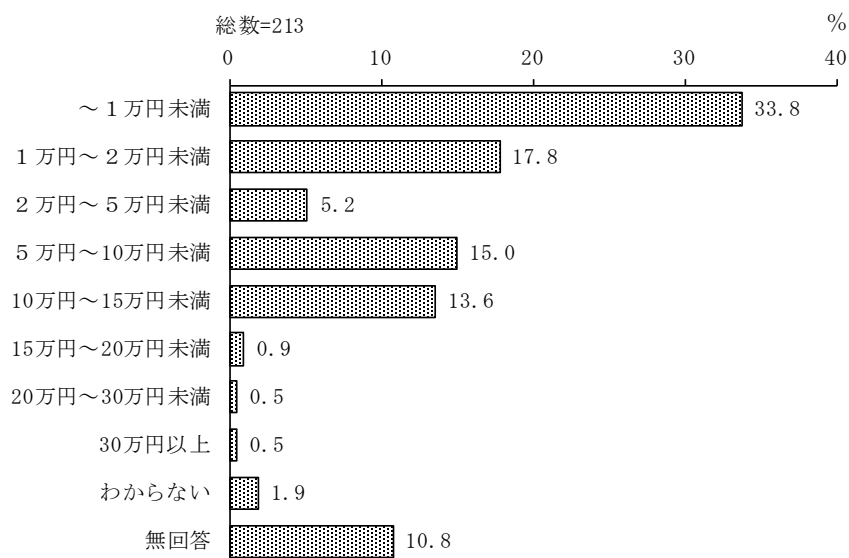
上段：実数 下段：割合		全 体	希 望 す る	希 望 し な い	わ か ら な い	無 回 答
全体		391 100.0	68 17.4	173 44.2	91 23.3	59 15.1
年 齢 別	0～11歳	64 100.0	17 26.6	6 9.4	30 46.9	11 17.2
	12～17歳	46 100.0	19 41.3	9 19.6	11 23.9	7 15.2
	18～29歳	59 100.0	17 28.8	27 45.8	9 15.3	6 10.2
	30～39歳	48 100.0	3 6.3	26 54.2	7 14.6	12 25.0
	40～49歳	61 100.0	5 8.2	42 68.9	9 14.8	5 8.2
	50～59歳	46 100.0	3 6.5	26 56.5	11 23.9	6 13.0
	60～64歳	23 100.0	2 8.7	14 60.9	4 17.4	3 13.0
	65～69歳	14 100.0	-	11 78.6	3 21.4	-
	70～74歳	19 100.0	-	11 57.9	3 15.8	5 26.3
	75歳以上	2 100.0	-	1 50.0	1 50.0	-
	無回答	9 100.0	2 22.2	-	3 33.3	4 44.4

(3) 1か月あたりの給与額

問 13-③ 問 13-①で「働いている」と答えた方にお聞きします。あなたの1か月あたりの給与（賃金・工賃）はおよそいくらですか。あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

「～1万円未満」が33.8%と最も多く、次いで「1万円～2万円未満」が17.8%、「5万円～10万円未満」が15.0%、「10万円～15万円未満」が13.6%、「2万円～5万円未満」が5.2%となっています。

【問 13-③A 1か月あたりの給与額】



会社・団体等の正規雇用で仕事をしている方では「10万円～15万円未満」が、パート、アルバイトなど非正規雇用で仕事をしている方では「5万円～10万円未満」が最も多いのに対し、作業所や就労支援事業所等の福祉施設で働いている方では「～1万円未満」が最も多くなっています。

【問 13-③B 1か月あたりの給与額（就労状況別）】

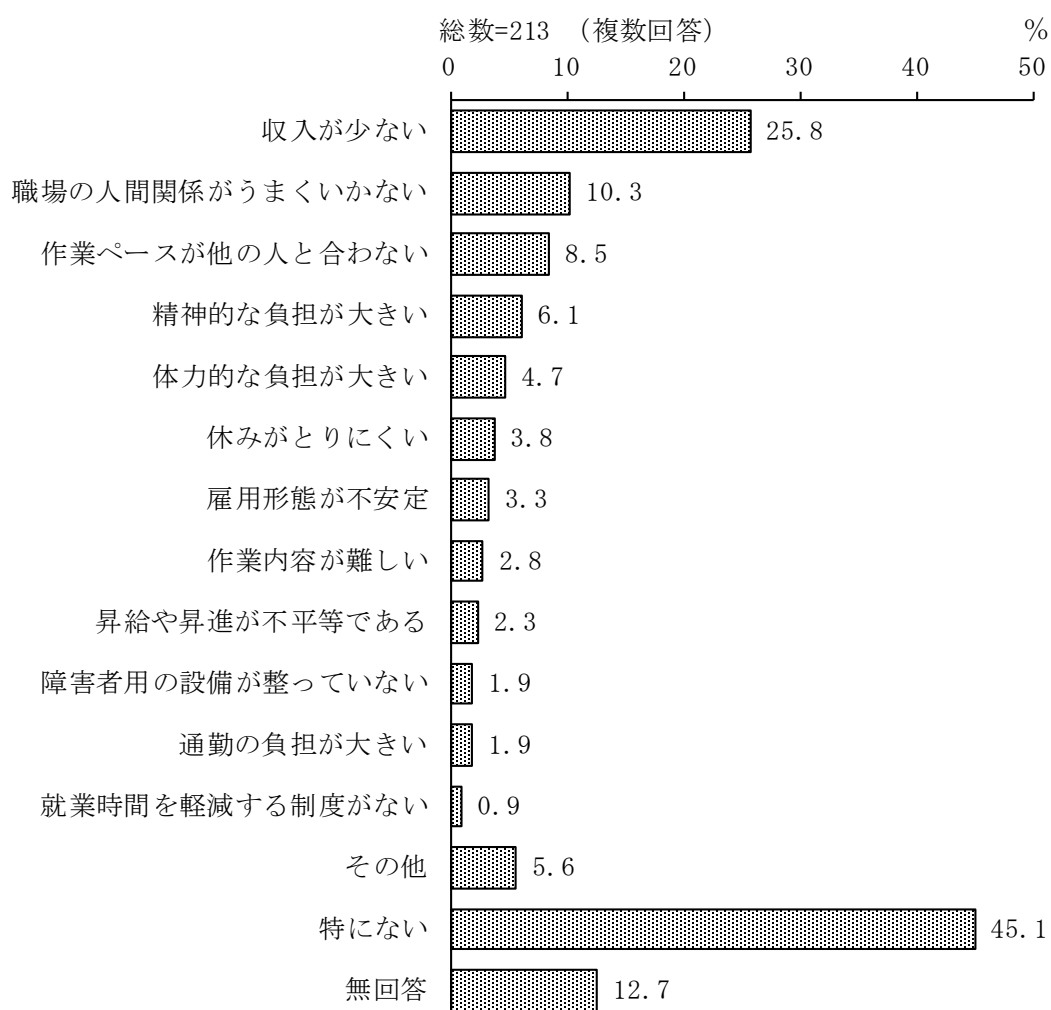
	全体	給与額										わからない	無回答
		～1万円未満	1万円～2万円未満	2万円～5万円未満	5万円～10万円未満	10万円～15万円未満	15万円～20万円未満	20万円～30万円未満	30万円以上	わからない	無回答		
上段：実数	213	72	38	11	32	29	2	1	1	4	23		
下段：割合	100.0	33.8	17.8	5.2	15.0	13.6	0.9	0.5	0.5	1.9	10.8		
就労状況	会社・団体等の正規雇用で仕事をしている	31	-	-	-	8	15	2	1	1	-	4	
		100.0	-	-	-	25.8	48.4	6.5	3.2	3.2	-	12.9	
	パート、アルバイトなど非正規雇用で仕事をしている	42	-	3	3	21	11	-	-	-	-	4	
		100.0	-	7.1	7.1	50.0	26.2	-	-	-	-	9.5	
	自営業など自宅等で収入のある仕事をしている	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
		100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	
	作業所や就労支援事業所等の福祉施設で働いている	110	61	34	7	1	1	-	-	-	-	6	
	100.0	55.5	30.9	6.4	0.9	0.9	-	-	-	-	5.5		
その他	29	11	1	1	2	1	-	-	-	4	9		
	100.0	37.9	3.4	3.4	6.9	3.4	-	-	-	13.8	31.0		
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*		

(4) 職場や仕事・作業への不安・不満

問 13-④ 問 13-①で「働いている」と答えた方にお聞きします。あなたが現在働いている職場や仕事・作業に不安や不満はありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「収入が少ない」が 25.8%と最も多く、次いで「職場の人間関係がうまくいかない」が 10.3%、「作業ペースが他の人と合わない」が 8.5%、「精神的な負担が大きい」が 6.1%となっています。

【問 13-④ 職場や仕事・作業への不安・不満】

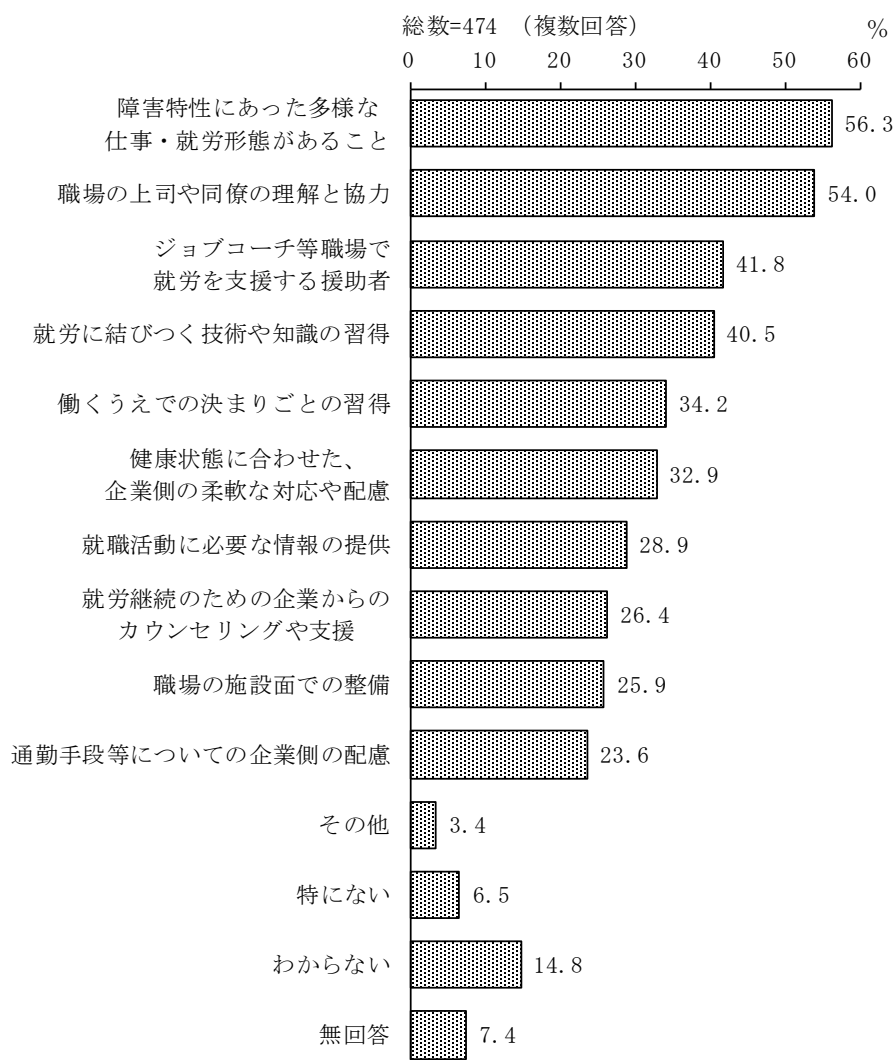


(5) 障害者が働くために大切なこと

問 14 全員の方にお聞きします。障害者が働くためには、どのような支援や環境が整っていることが大切だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「障害特性にあった多様な仕事・就労形態があること」が 56.3%と最も多く、次いで「職場の上司や同僚の理解と協力」が 54.0%、「ジョブコーチ等職場で就労を支援する援助者」が 41.8%、「就労に結びつく技術や知識の習得」が 40.5%、「働くうえでの決まりごとの習得」が 34.2%となっています。

【問 14 障害者が働くために大切なこと】



5. 介助の状況について

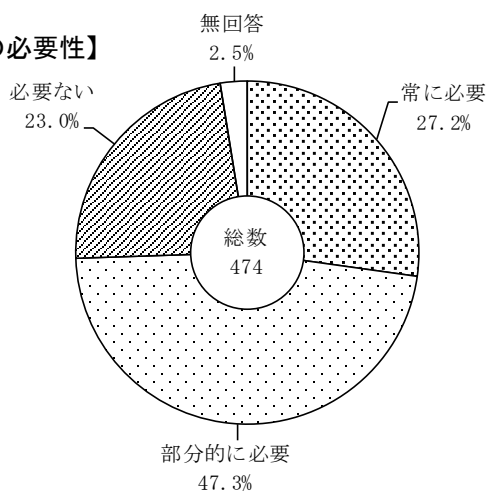
※以下介助とは、障害者への介助、支援、見守りなどを含みます。

(1) 介助の必要性

問 15-① あなたは介助を必要としていますか。あてはまるものを1つ選び、○をつけてください。

「部分的に必要」が47.3%と最も多く、次いで「常に必要」が27.2%、「必要ない」が23.0%となっています。

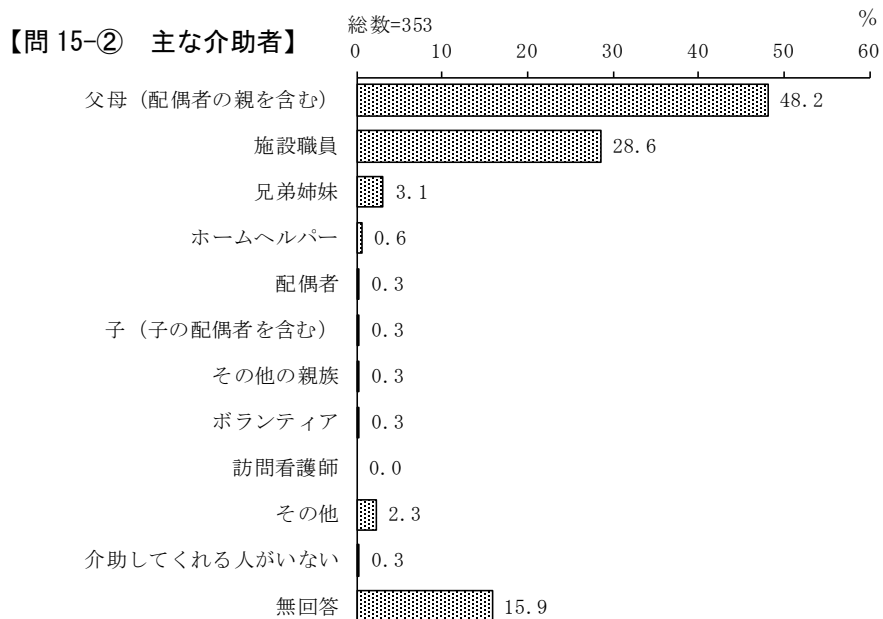
【問 15-① 介助の必要性】



(2) 主な介助者

問 15-② 問 15-①で「常に必要」または「部分的に必要」に○をつけた方に伺います。あなたを日頃主に介助している方はどなたですか。主なものを1つ選び、○をつけてください。

「父母（配偶者の親を含む）」が48.2%と最も多く、次いで「施設職員」が28.6%となっています。



【ここから問 19 までは介助をしている家族・親族の方に伺いました】

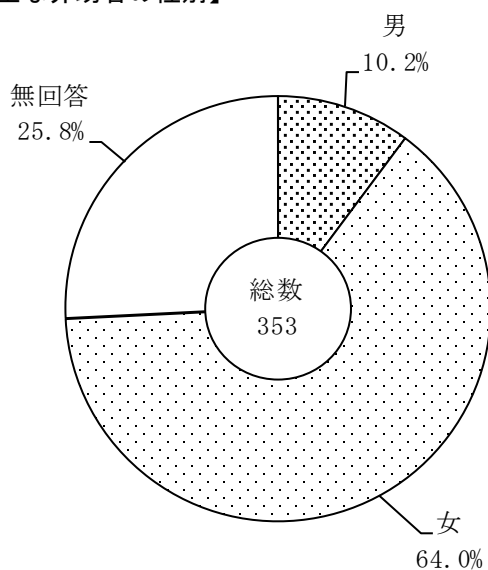
(3) 主な介助者の性別・年齢

問 16 主に介助をしている方の性別と年齢を記入してください。

① 主な介助者の性別

「女」が 64.0%、「男」が 10.2%となっています。

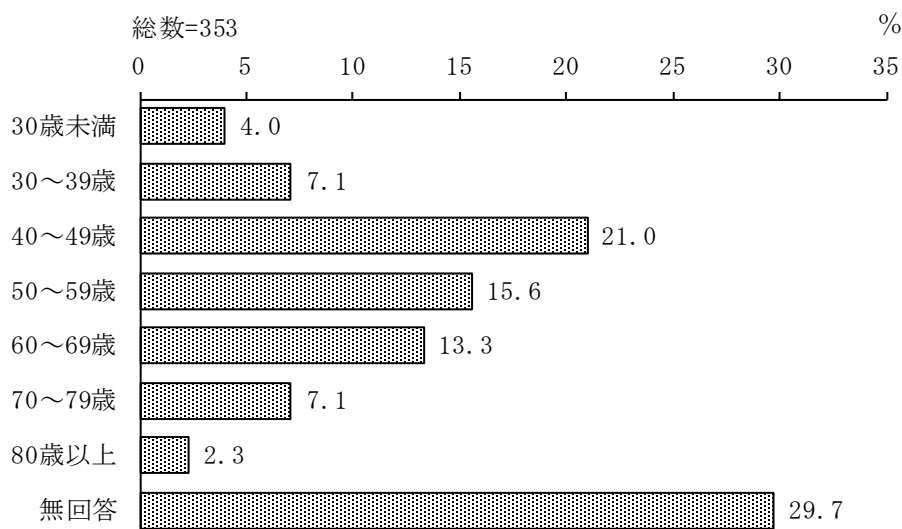
【問 16① 主な介助者の性別】



② 介助者の年齢

「40～49歳」が 21.0%と最も多く、次いで「50～59歳」が 15.6%、「60～69歳」が 13.3%、「30～39歳」と「70～79歳」がそれぞれ 7.1%となっています。

【問 16② 介助者の年齢】

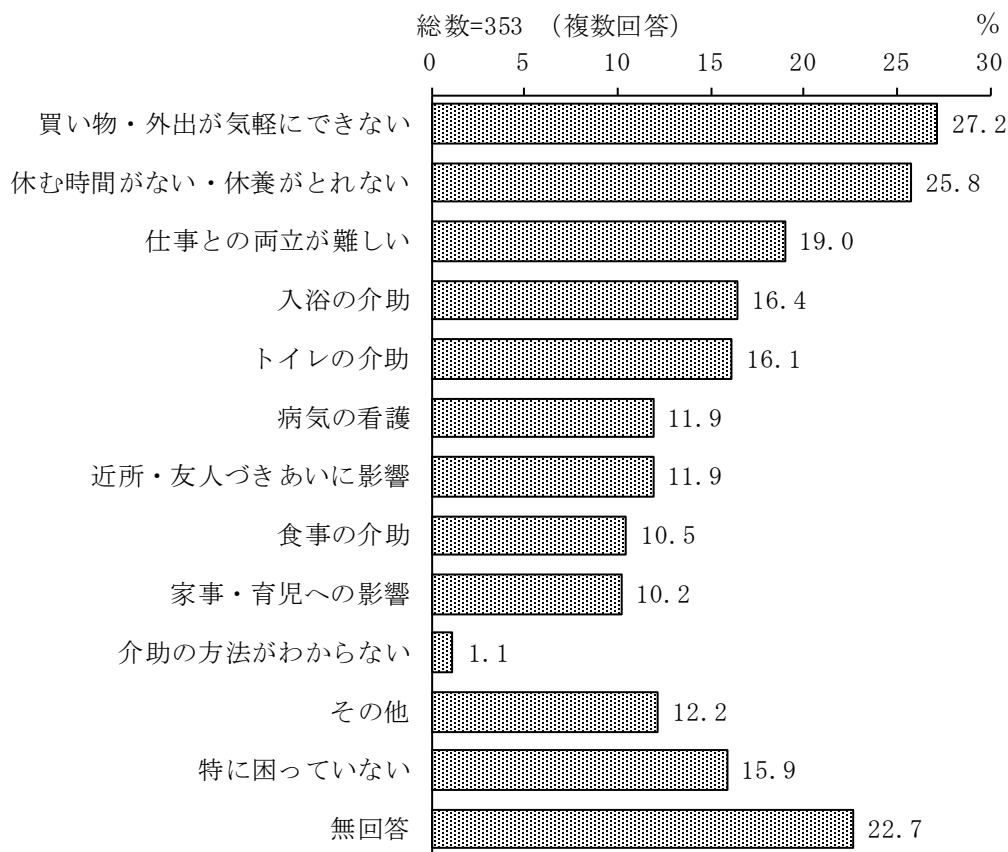


(4) 介助者が困っていること

問 17 主に介助をしている方がお困りのことは何ですか。
あてはまるものすべてを選び、○をつけてください。

「買い物・外出が気軽にできない」が27.2%と最も多く、次いで「休む時間がない・休養がとれない」が25.8%、「仕事との両立が難しい」が19.0%、「入浴の介助」が16.4%、「トイレの介助」が16.1%となっています。「その他」では、「本人の意思の確認が難しい」などの回答がありました。

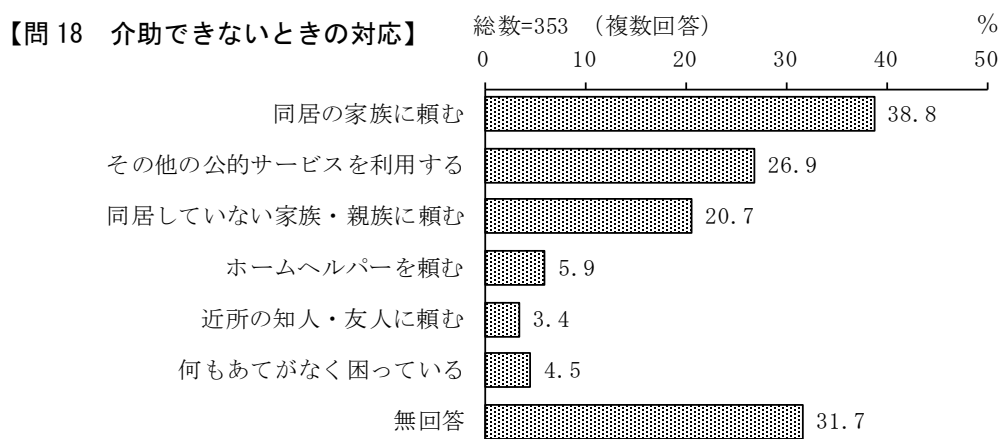
【問 17 介助者が困っていること】



(5) 介助できないときの対応

問 18 主に介助している方が病気、休養、冠婚葬祭等で一時的に介助ができないときはどうしていますか。あてはまるものすべてを選び、○をつけてください。

「同居の家族に頼む」が38.8%と最も多く、次いで「その他の公的サービスを利用する」が26.9%、「同居していない家族・親族に頼む」が20.7%、「ホームヘルパーを頼む」が5.9%となっています。



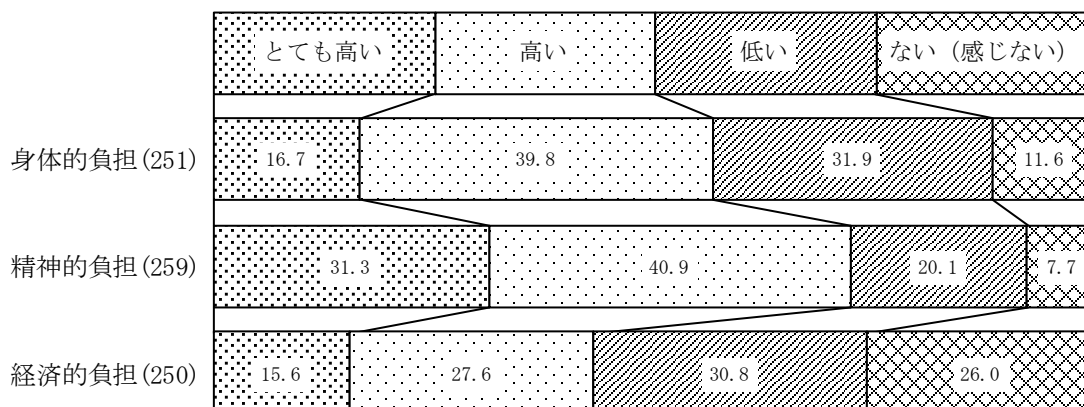
(6) 介助者の負担感

問 19 介助をする上で、主に介助している方の負担の感じ方はどのくらいですか。次にあげるア～ウについて、それぞれあてはまるものを1～4のなかから選んでください。
(それぞれ1つに○をつけてください)

どちらかと言えば高い(「とても高い」、「高い」という回答は、精神的負担が72.2%と最も高く、次いで身体的負担が56.6%、経済的負担が43.2%となっています。

【問 19 介助者の負担感】

単位:%



※ 無回答は省いています。

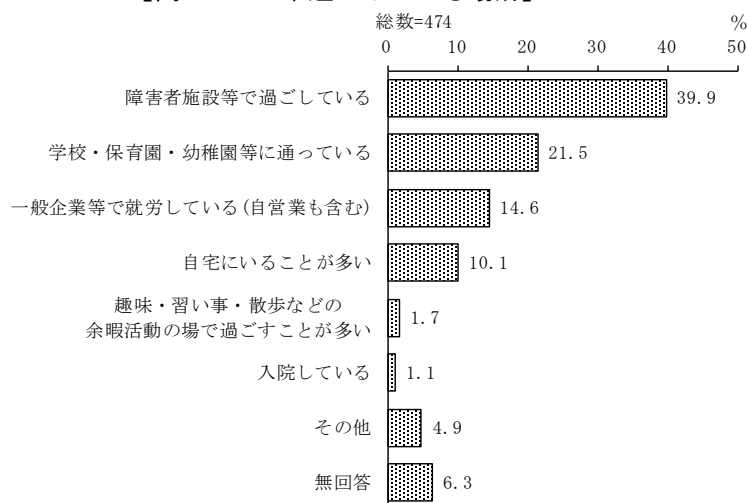
6. 日々の生活について

(1) 日中過ごしている場所

問 20 日中は主にどこで過ごしていますか。主なもの1つを選び、○をつけてください。

「障害者施設等で過ごしている」が 39.9%と最も多く、次いで「学校・保育園・幼稚園等に通っている」が 21.5%、「一般企業等で就労している(自営業も含む)」が 14.6%、「自宅にすることが多い」が 10.1%となっています。

【問 20A 日中過ごしている場所】



「学校・保育園・幼稚園等に通っている」という回答の割合は 18 歳未満で多く、「障害者施設等で過ごしている」という回答の割合は 18 歳以上で多くなっています。「一般企業等で就労している(自営業も含む)」という回答の割合は 18~39 歳でやや多くなっています。

【問 20B 日中過ごしている場所(年齢別)】

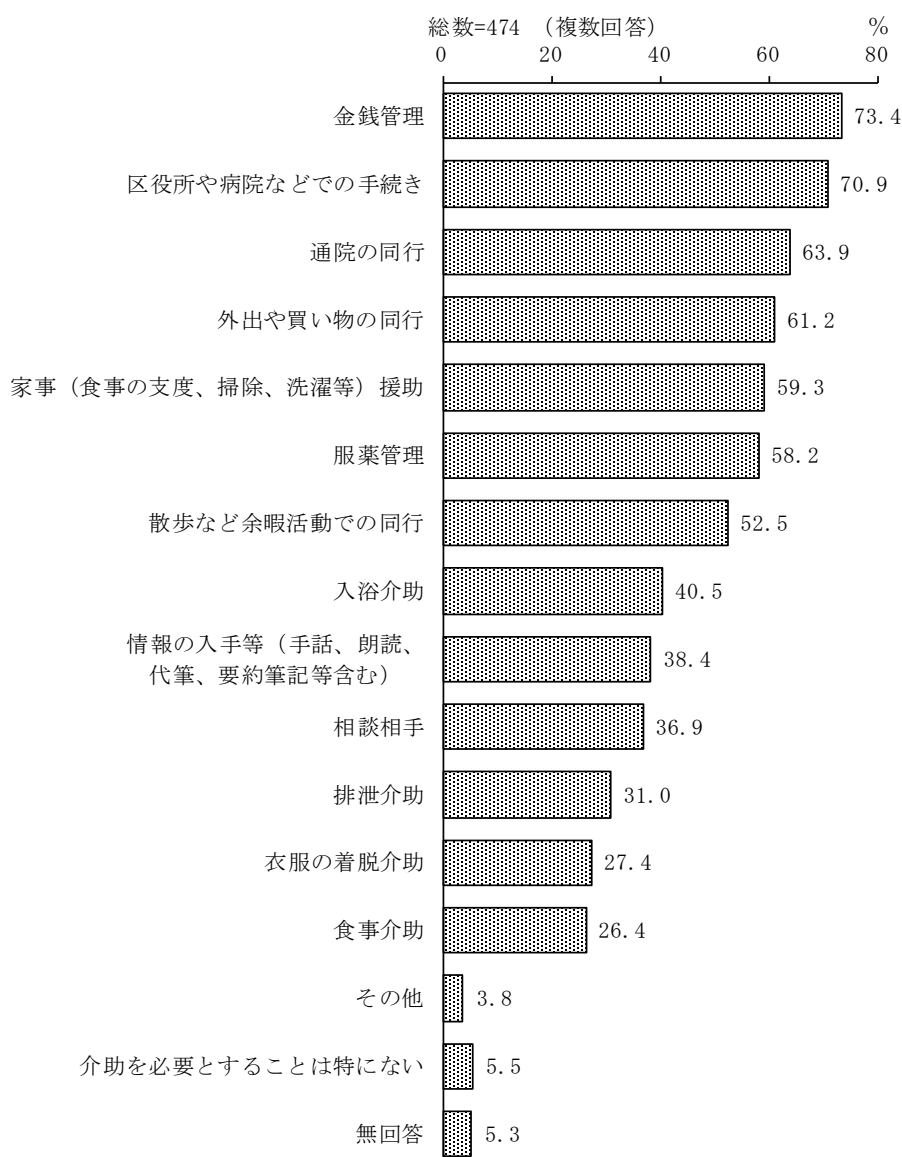
年齢別	全体		学校・保育園・幼稚園等に通っている	障害者施設等で過ごしている	入院している	自宅にすることが多い	趣味・習い事・散歩などの余暇活動の場で過ごすことが多い	その他	無回答	
	実数	割合								
全体	474	100.0	69	102	189	5	48	8	23	30
			14.6	21.5	39.9	1.1	10.1	1.7	4.9	6.3
0~11歳	66	100.0	-	55	2	1	4	-	2	2
			-	83.3	3.0	1.5	6.1	-	3.0	3.0
12~17歳	49	100.0	-	41	1	-	2	-	1	4
			-	83.7	2.0	-	4.1	-	2.0	8.2
18~29歳	89	100.0	29	3	36	1	11	1	5	3
			32.6	3.4	40.4	1.1	12.4	1.1	5.6	3.4
30~39歳	68	100.0	19	-	34	-	9	2	-	4
			27.9	-	50.0	-	13.2	2.9	-	5.9
40~49歳	77	100.0	13	1	43	-	7	-	5	8
			16.9	1.3	55.8	-	9.1	-	6.5	10.4
50~59歳	49	100.0	3	-	32	-	7	-	2	5
			6.1	-	65.3	-	14.3	-	4.1	10.2
60~64歳	26	100.0	1	-	20	-	1	2	1	1
			3.8	-	76.9	-	3.8	7.7	3.8	3.8
65~69歳	16	100.0	1	-	8	1	2	1	3	-
			6.3	-	50.0	6.3	12.5	6.3	18.8	-
70~74歳	20	100.0	1	-	10	2	3	-	3	1
			5.0	-	50.0	10.0	15.0	-	15.0	5.0
75歳以上	2	100.0	-	-	1	-	-	-	1	-
			-	-	50.0	-	-	-	50.0	-
無回答	12	100.0	2	2	2	-	2	-	-	2
			16.7	16.7	16.7	-	16.7	16.7	-	16.7

(2) 手助けが必要なこと

問 21 あなたが生活する上で、手助けが必要なことは何ですか。
 あてはまるものをすべて選び、○をつけてください。

「金銭管理」が 73.4%と最も多く、次いで「区役所や病院などでの手続き」が 70.9%、「通院の同行」が 63.9%、「外出や買い物の同行」が 61.2%、「家事（食事の支度、掃除、洗濯等）援助」が 59.3%となっています。

【問 21 手助けが必要なこと】

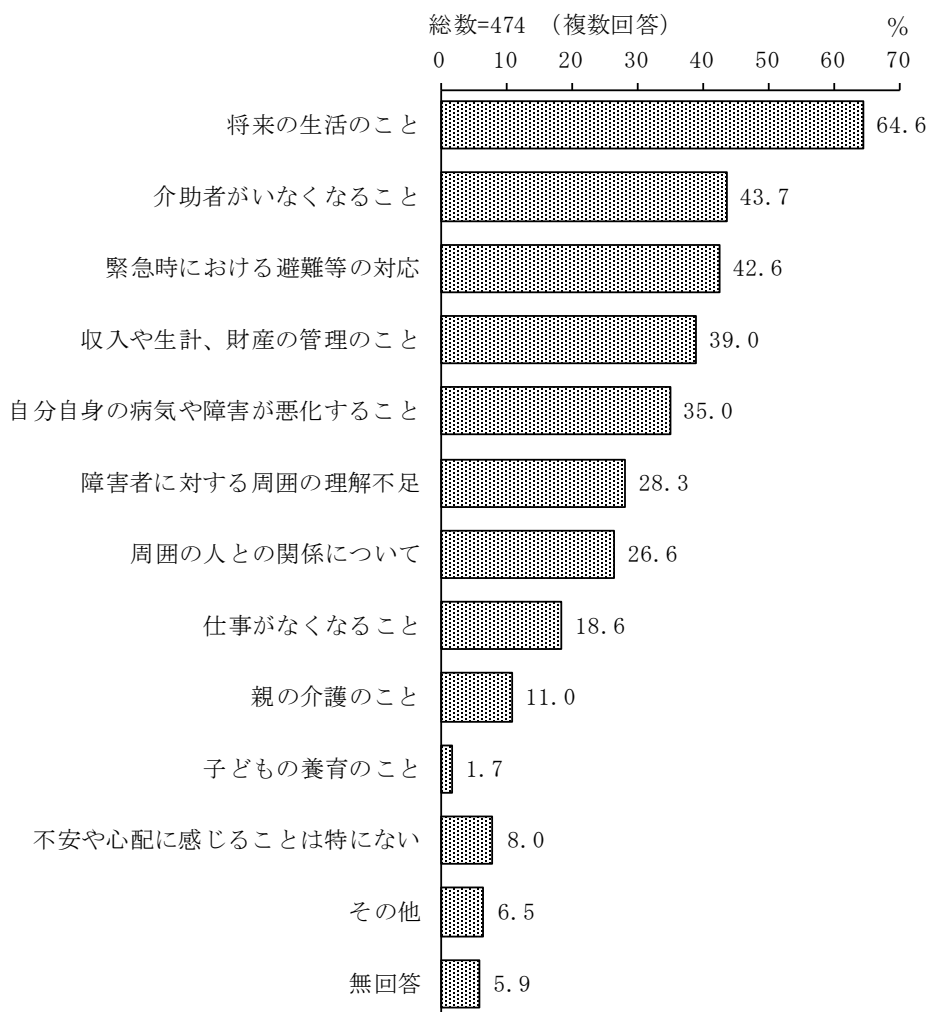


(3) 不安や心配に感じていること

問 22 現在または将来、不安や心配に感じていることはありますか。
あてはまるものをすべて選び、○をつけてください。

「将来の生活のこと」が 64.6%と最も多く、次いで「介助者がいなくなること」が 43.7%、「緊急時における避難等の対応」が 42.6%、「収入や生計、財産の管理のこと」が 39.0%、「自分自身の病気や障害が悪化すること」が 35.0%となっています。

【問 22 不安や心配に感じていること】

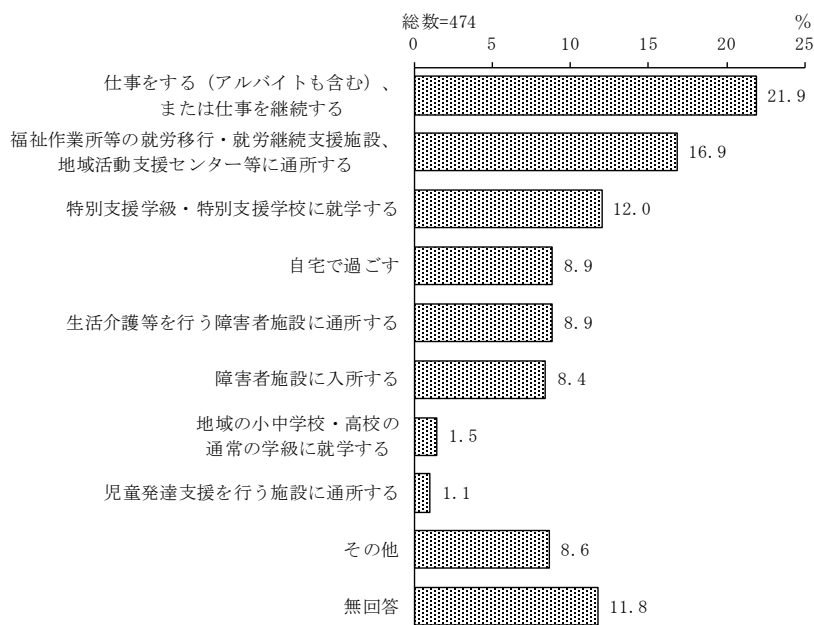


(4) 日中活動の希望

問 23 日中活動として、あなたは、今後どのような過ごし方、通所先、就学先等を希望していますか。あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

「仕事をする（アルバイトも含む）、または仕事を継続する」が21.9%と最も多く、次いで「福祉作業所等の就労移行・就労継続支援施設、地域活動支援センター等に通所する」が16.9%、「特別支援学級・特別支援学校に就学する」が12.0%、「自宅で過ごす」と「生活介護等を行う障害者施設に通所する」がそれぞれ8.9%となっています。

【問 23A 日中活動の希望】



「仕事をする（アルバイトも含む）、または仕事を継続する」という回答の割合は18～39歳で多く、「特別支援学級・特別支援学校に就学する」という回答の割合は18歳未満で多くなっています。

【問 23B 日中活動の希望 (年齢別)】

年齢別	上段：実数		下段：割合 (%)										
	全体	自宅で過ごす	支援センター等に通所する	福祉作業所等の就労移行・活動	生活介護等を行う障害者施設に通所する	障害者施設に入所する	継続する(アルバイトも含む)、または仕事をする	特別支援学級・特別支援学校に就学する	地域の小中学校・高校の通常の学級に就学する	施設に通所する	児童発達支援を行う	その他	無回答
全体	474	42	80	42	40	104	57	7	5	41	56		
	100.0	8.9	16.9	8.9	8.4	21.9	12.0	1.5	1.1	8.6	11.8		
0～11歳	66	1	2	1	-	4	38	6	3	2	9		
	100.0	1.5	3.0	1.5	-	6.1	57.6	9.1	4.5	3.0	13.6		
12～17歳	49	1	11	5	-	12	16	-	-	1	3		
	100.0	2.0	22.4	10.2	-	24.5	32.7	-	-	2.0	6.1		
18～29歳	89	6	21	11	2	37	-	1	-	6	5		
	100.0	6.7	23.6	12.4	2.2	41.6	-	1.1	-	6.7	5.6		
30～39歳	68	5	11	11	7	19	1	-	1	2	11		
	100.0	7.4	16.2	16.2	10.3	27.9	1.5	-	1.5	2.9	16.2		
40～49歳	77	8	14	4	12	16	-	-	-	9	14		
	100.0	10.4	18.2	5.2	15.6	20.8	-	-	-	11.7	18.2		
50～59歳	49	6	13	4	6	5	1	-	-	9	5		
	100.0	12.2	26.5	8.2	12.2	10.2	2.0	-	-	18.4	10.2		
60～64歳	26	3	3	4	6	3	-	-	-	3	4		
	100.0	11.5	11.5	15.4	23.1	11.5	-	-	-	11.5	15.4		
65～69歳	16	4	2	-	4	1	-	-	-	4	1		
	100.0	25.0	12.5	-	25.0	6.3	-	-	-	25.0	6.3		
70～74歳	20	5	2	2	3	2	-	-	1	4	1		
	100.0	25.0	10.0	10.0	15.0	10.0	-	-	5.0	20.0	5.0		
75歳以上	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1		
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0		
無回答	12	3	1	-	-	5	1	-	-	-	2		
	100.0	25.0	8.3	-	-	41.7	8.3	-	-	-	16.7		

(5) 余暇活動への参加希望

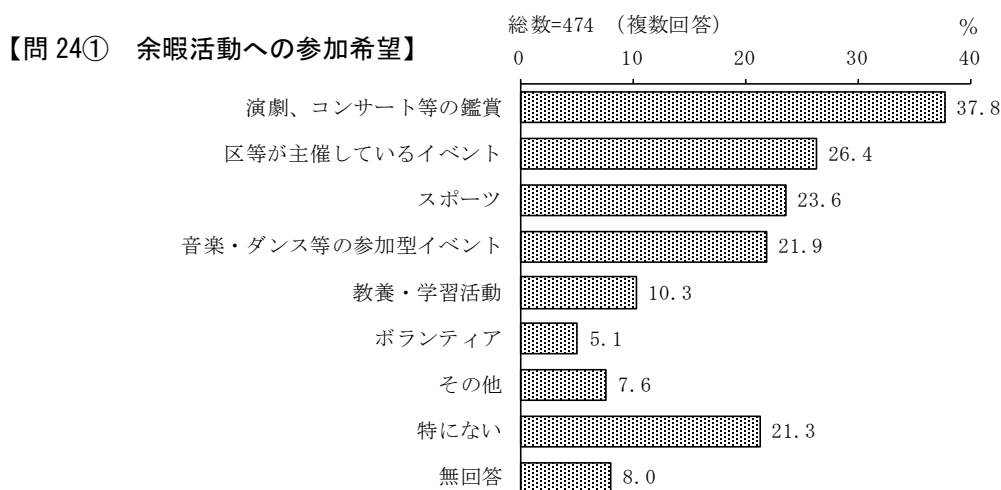
問 24 余暇活動についてお聞きします。今後余暇活動で参加したいと思うものがありますか。あてはまるものすべてを選び、○をつけてください。

* スポーツを選んだ方は () 内にスポーツの種目もお書きください。

* 区等が主催しているイベントを選んだ方は () 内の種類にも○をつけてください。

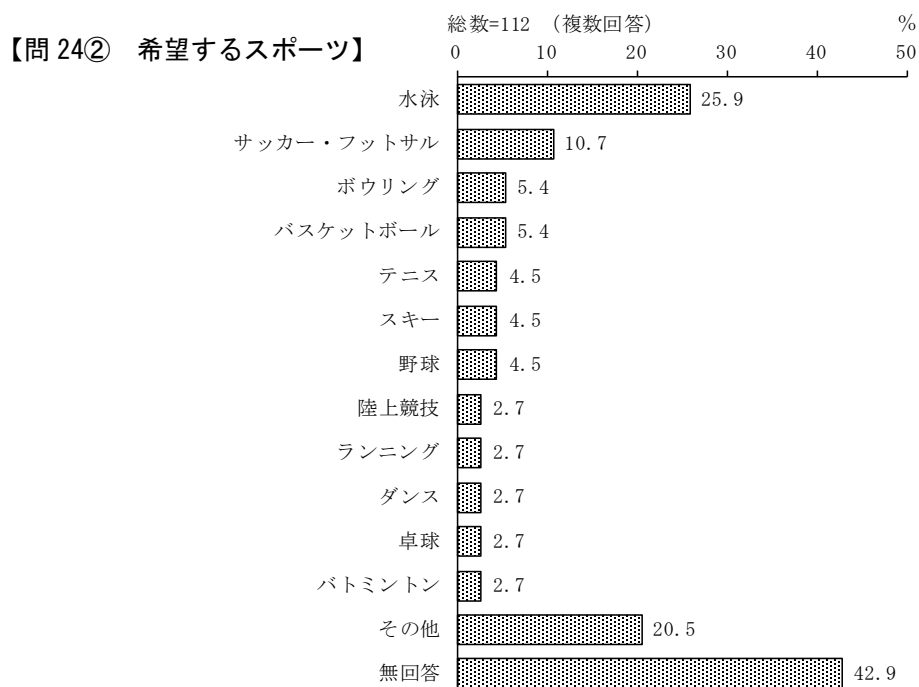
①余暇活動への参加希望

「演劇、コンサート等の鑑賞」が 37.8%と最も多く、次いで「区等が主催しているイベント」が 26.4%、「スポーツ」が 23.6%、「音楽・ダンス等の参加型イベント」が 21.9%、「教養・学習活動」が 10.3%となっています。



②希望するスポーツ

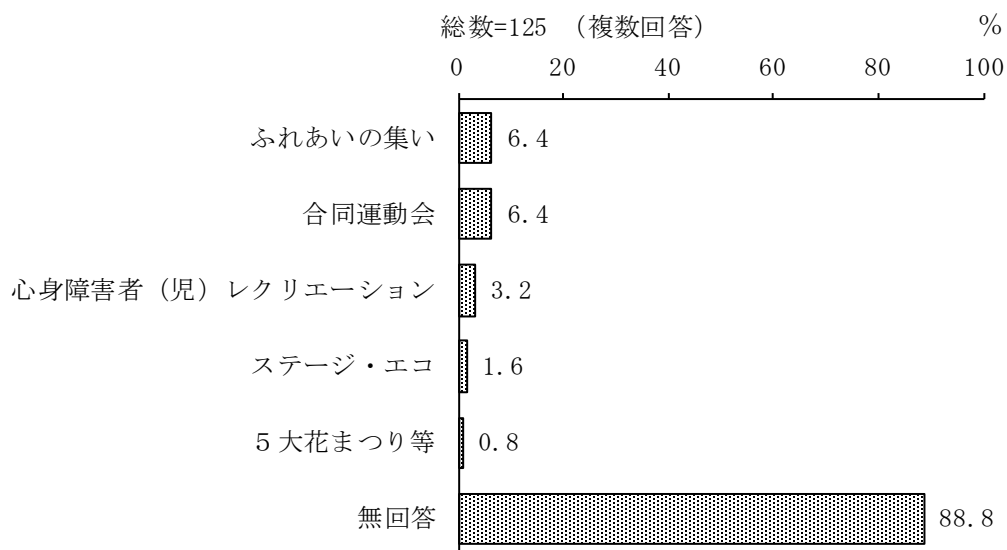
「水泳」が 25.9%と最も多く、次いで「サッカー・フットサル」が 10.7%、「ボウリング」と「バスケットボール」がそれぞれ 5.4%となっています。



③区等が主催しているイベント

「ふれあいの集い」と「合同運動会」がそれぞれ6.4%と最も多くなっています。

【問 24③ 区等が主催しているイベント】



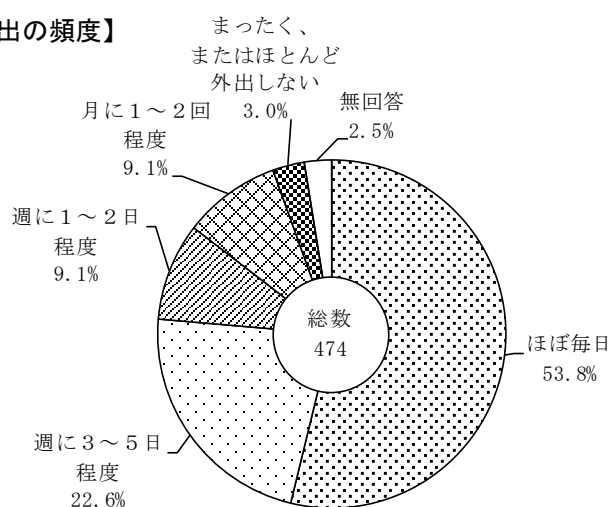
7. 外出・地域環境などについて

(1) 外出の頻度

問 25 日頃あなたはどれくらい外出（通勤、通学、通院等を含む）しますか。
あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

「ほぼ毎日」が 53.8%と最も多く、次いで「週に3～5日程度」が 22.6%、「週に1～2日程度」と「月に1～2回程度」がそれぞれ 9.1%となっています。

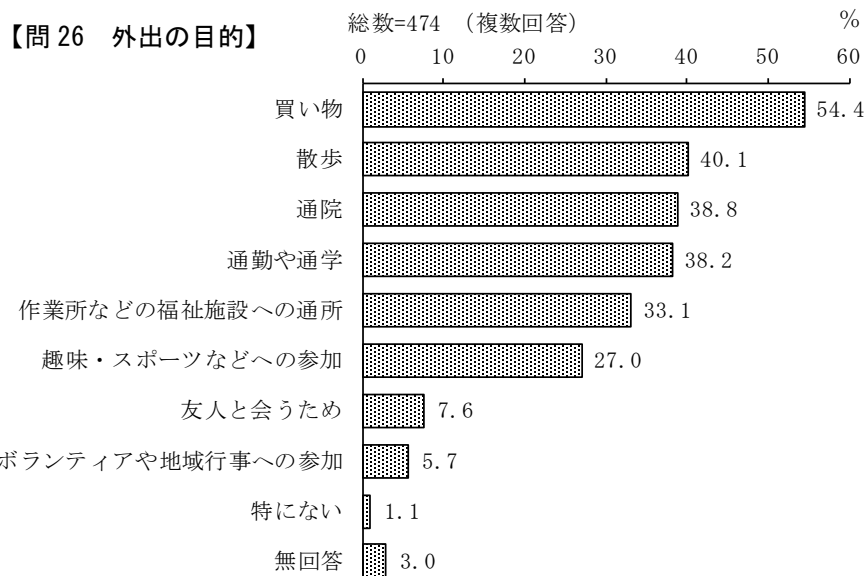
【問 25 外出の頻度】



(2) 外出の目的

問 26 外出の目的にはどのようなものがありますか。あてはまるものすべてを選び、○をつけてください。

「買い物」が 54.4%と最も多く、次いで「散歩」が 40.1%、「通院」が 38.8%、「通勤や通学」が 38.2%、「作業所などの福祉施設への通所」が 33.1%となっています。



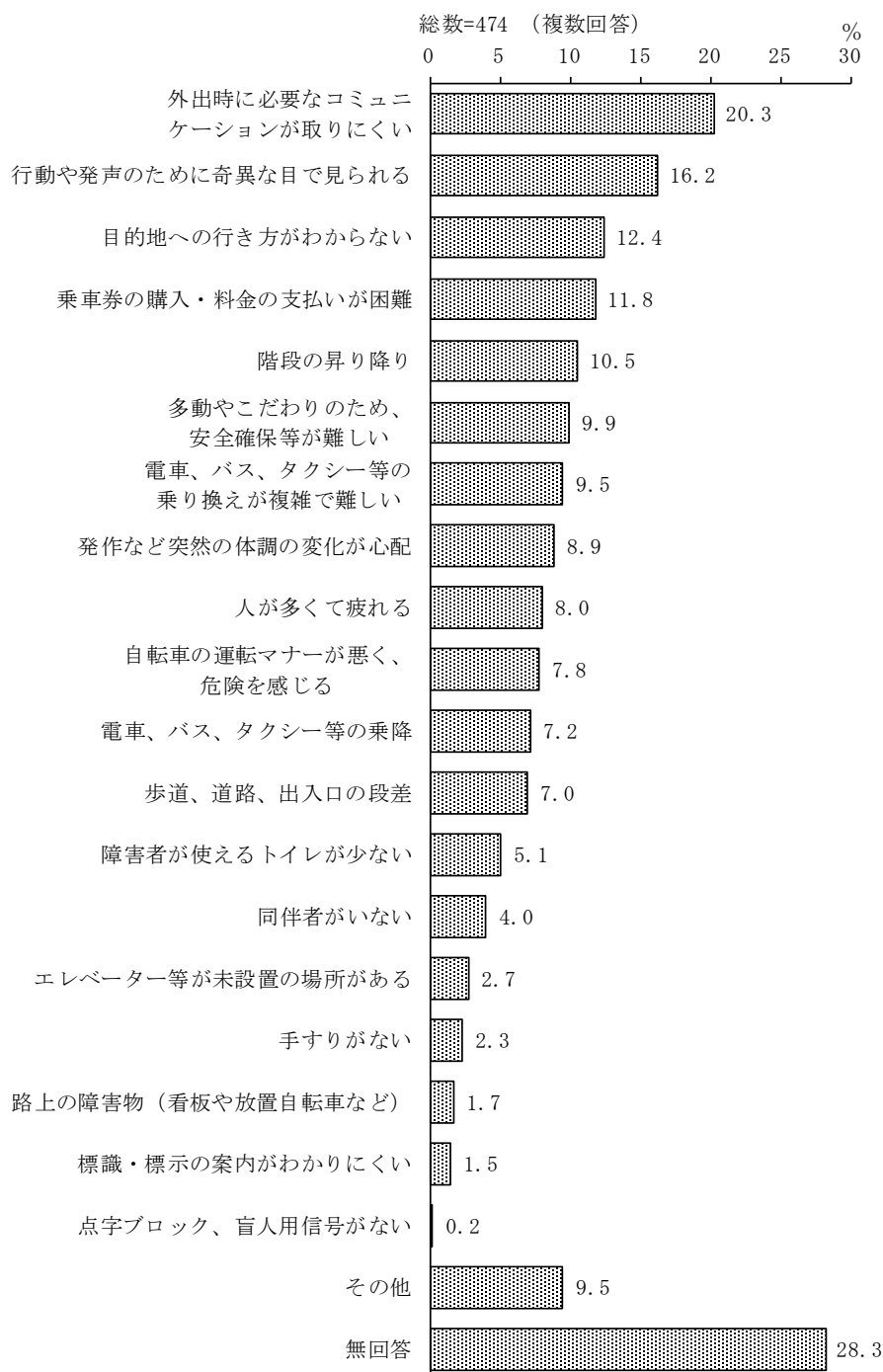
(3) 外出の際に困ること

問 27 外出の際に困ることは何ですか。

特にあてはまるものを3つまで選び、○をつけてください。

「外出時に必要なコミュニケーションが取りにくい」が20.3%と最も多く、次いで「行動や発声のために奇異な目で見られる」が16.2%、「目的地への行き方がわからない」が12.4%、「乗車券の購入・料金の支払いが困難」が11.8%、「階段の昇り降り」が10.5%となっています。

【問 27A 外出の際に困ること】



「外出時に必要なコミュニケーションが取りにくい」という回答の割合は自閉症・自閉傾向、ダウン症で多くなっています。「行動や発声のために奇異な目で見られる」という回答の割合は自閉症・自閉傾向で多く、「発作など突然の体調の変化が心配」という回答はてんかんで多くなっています。

【問 27B 外出の際に困ること（障害の部位別）】

上段：実数 下段：割合	全体	電車、タクシー等の乗降	歩道、道路、出入口の段差	階段の昇り降り	手すりが無い	路上の障害物（看板や放置自転車など）	障害者が使えるトイレが少ない	標識・標示の案内がわかりにくい	点字ブロック、盲人用信号がない	エレベーター等が未設置の場所がある	乗車券の購入・料金の支払いが困難	
	全体	474 100.0	34 7.2	33 7.0	50 10.5	11 2.3	8 1.7	24 5.1	7 1.5	1 0.2	13 2.7	56 11.8
障害の部位	知的障害	398 100.0	30 7.5	28 7.0	42 10.6	10 2.5	7 1.8	19 4.8	6 1.5	1 0.3	7 1.8	50 12.6
	自閉症・自閉傾向	112 100.0	6 5.4	3 2.7	2 1.8	-	-	3 2.7	-	-	2 1.8	13 11.6
	ダウン症	56 100.0	6 10.7	5 8.9	12 21.4	1 1.8	1 1.8	2 3.6	-	-	3 5.4	14 25.0
	てんかん	65 100.0	6 9.2	6 9.2	8 12.3	1 1.5	2 3.1	5 7.7	1 1.5	1 1.5	3 4.6	6 9.2
	視覚	14 100.0	3 21.4	4 28.6	4 28.6	1 7.1	2 14.3	1 7.1	-	1 7.1	-	-
	聴覚・平衡機能	12 100.0	-	-	1 8.3	-	1 8.3	1 8.3	-	-	-	1 8.3
	音声・言語・そしゃく	47 100.0	5 10.6	2 4.3	6 12.8	-	4 8.5	4 8.5	-	-	3 6.4	8 17.0
	肢体不自由（上肢・下肢・体幹・運動機能障害）	63 100.0	11 17.5	12 19.0	15 23.8	4 6.3	5 7.9	10 15.9	-	-	5 7.9	2 3.2
	内部障害	23 100.0	2 8.7	-	5 21.7	-	2 8.7	1 4.3	-	-	1 4.3	2 8.7
	精神疾患	19 100.0	1 5.3	1 5.3	1 5.3	-	-	1 5.3	1 5.3	-	-	2 10.5
	その他	16 100.0	2 12.5	2 12.5	3 18.8	2 12.5	-	1 6.3	-	-	-	1 6.3
	無回答	7 100.0	-	1 14.3	1 14.3	-	-	-	-	-	1 14.3	-

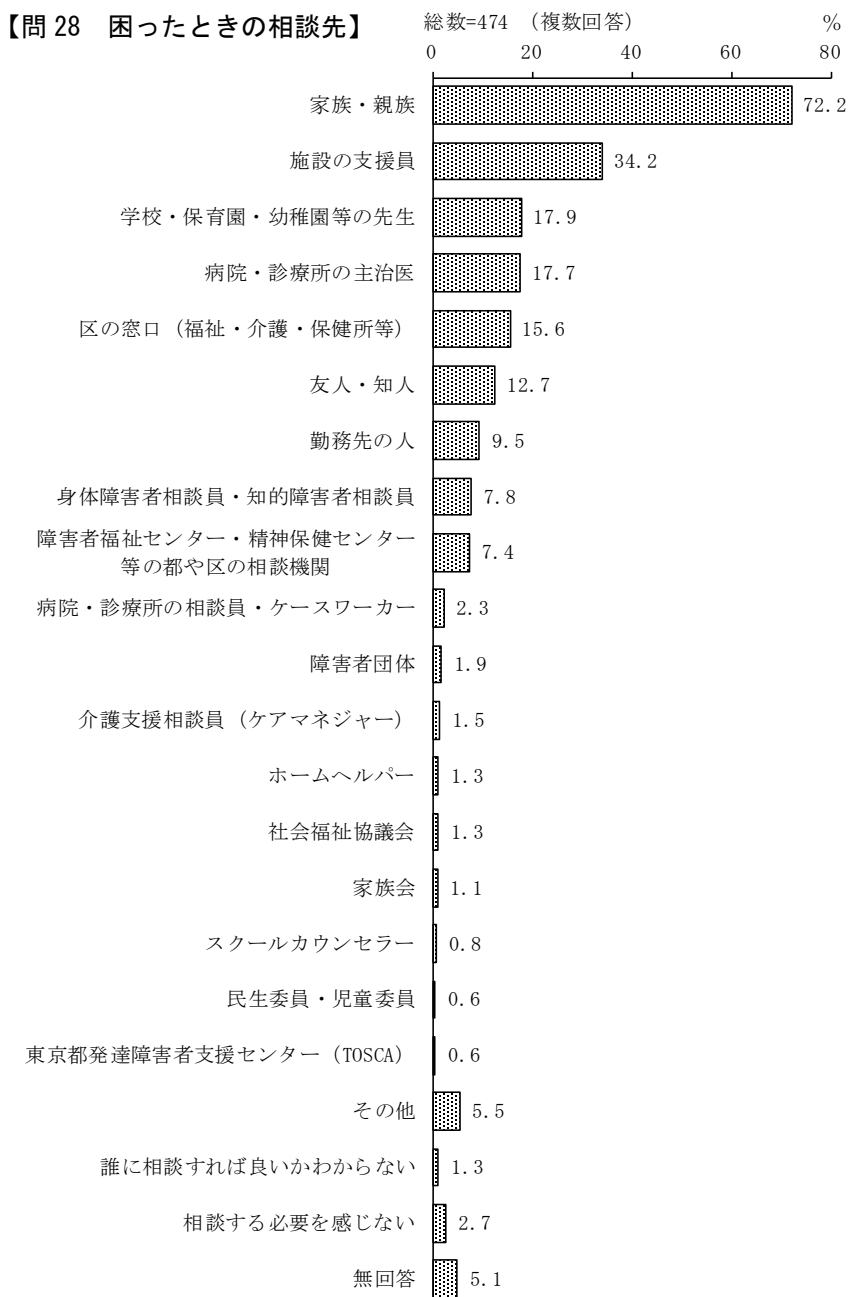
上段：実数 下段：割合	危険を感じる	自転車の運転マナーが悪く、発作など突然の体調の変化が心配	取りにくいコミュニケーション	外出時に必要なコミュニケーション	奇異な目で見られる	行動や発声のために	安全確保等が難しい	多動やこだわりのため、	人が多くて疲れる	乗り換えが複雑で難しい	電車、バス、タクシー等の	目的地への行き方がわからない	同伴者がいない	その他	無回答
	全体	37 7.8	42 8.9	96 20.3	77 16.2	47 9.9	38 8.0	45 9.5	59 12.4	19 4.0	45 9.5	134 28.3			
障害の部位	知的障害	35 8.8	36 9.0	82 20.6	66 16.6	42 10.6	35 8.8	42 10.6	35 8.8	36 9.0	53 13.3	17 4.3	38 9.5	111 27.9	
	自閉症・自閉傾向	4 3.6	9 8.0	32 28.6	39 34.8	27 24.1	9 8.0	7 6.3	11 9.8	6 5.4	13 11.6	3 2.7	13 11.6	31 27.7	
	ダウン症	5 8.9	1 1.8	17 30.4	4 7.1	-	1 1.8	10 17.9	14 25.0	1 1.8	4 7.1	11 19.6			
	てんかん	5 7.7	19 29.2	9 13.8	11 16.9	8 12.3	4 6.2	7 10.8	7 10.8	3 4.6	2 3.1	17 26.2			
	視覚	1 7.1	1 7.1	1 7.1	2 14.3	2 14.3	-	1 7.1	2 14.3	2 14.3	1 7.1	2 14.3			
	聴覚・平衡機能	-	1 8.3	6 50.0	3 25.0	1 8.3	3 25.0	1 8.3	1 8.3	-	1 8.3	2 16.7			
	音声・言語・そしゃく	4 8.5	4 8.5	8 17.0	15 31.9	5 10.6	1 2.1	1 2.1	8 17.0	3 6.4	3 6.4	13 27.7			
	肢体不自由（上肢・下肢・体幹・運動機能障害）	3 4.8	6 9.5	2 3.2	12 19.0	5 7.9	2 3.2	2 3.2	3 4.8	2 3.2	3 4.8	19 30.2			
	内部障害	1 4.3	3 13.0	4 17.4	4 17.4	-	3 13.0	1 4.3	2 8.7	3 13.0	3 13.0	6 26.1			
	精神疾患	-	1 5.3	3 15.8	2 10.5	-	4 21.1	3 15.8	3 15.8	-	2 10.5	7 36.8			
	その他	-	2 12.5	2 12.5	4 25.0	2 12.5	1 6.3	1 6.3	1 6.3	-	-	7 43.8			
	無回答	-	1 14.3	-	-	-	1 14.3	1 14.3	-	-	1 14.3	2 28.6			

8. 相談について

(1) 困ったときの相談先

問 28 あなたが困ったときや悩んだ時の相談先について、次のうちからお選びください。
 あてはまるものすべてを選び、○をつけてください。

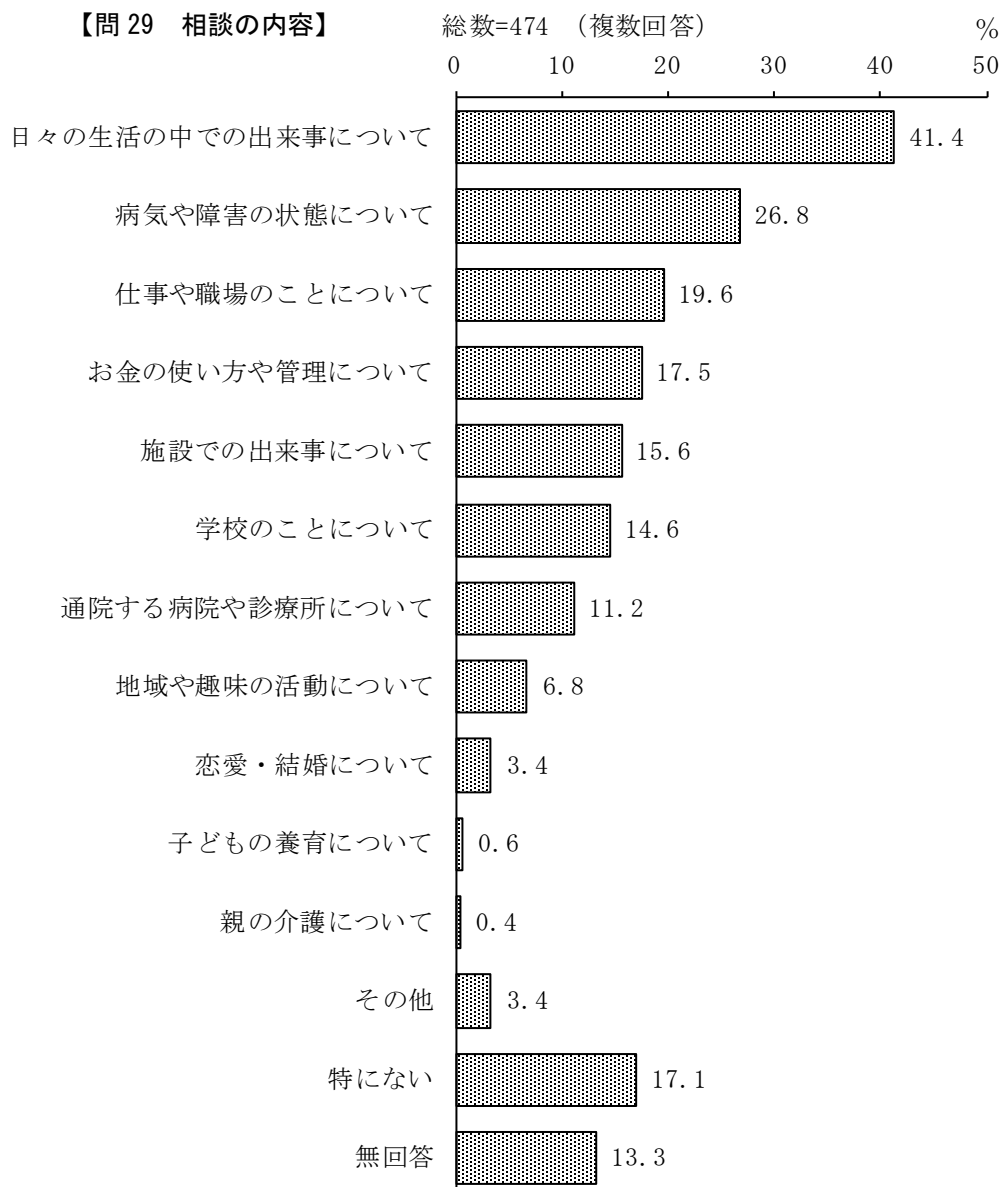
「家族・親族」が 72.2%と最も多く、次いで「施設の支援員」が 34.2%、「学校・保育園・幼稚園等の先生」が 17.9%、「病院・診療所の主治医」が 17.7%、「区の窓口（福祉・介護・保健所等）」が 15.6%となっています。



(2) 相談の内容

問 29 あなたは、どのようなことについて相談していますか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

「日々の生活の中での出来事について」が41.4%と最も多く、次いで「病気や障害の状態について」が26.8%、「仕事や職場のことについて」が19.6%、「お金の使い方や管理について」が17.5%、「施設での出来事について」が15.6%となっています。



9. 障害福祉サービス等の利用について

障害者総合支援法及び児童福祉法に基づく、障害福祉サービス等のご利用状況について伺いました。

※ サービスの分類については 33 ページをご参照ください。

★現在障害福祉サービス等を利用されている方には**[A]**（問 30～問 31）の設問にお答えいただきました。

★さらに、施設入所されている方には、**[B]**（問 32～問 35-④）についてもお答えいただきました。

★障害福祉サービス等を利用していない方には**[C]**（問 36）へお進み頂きました。

[A] 障害福祉サービス等を利用している方へ

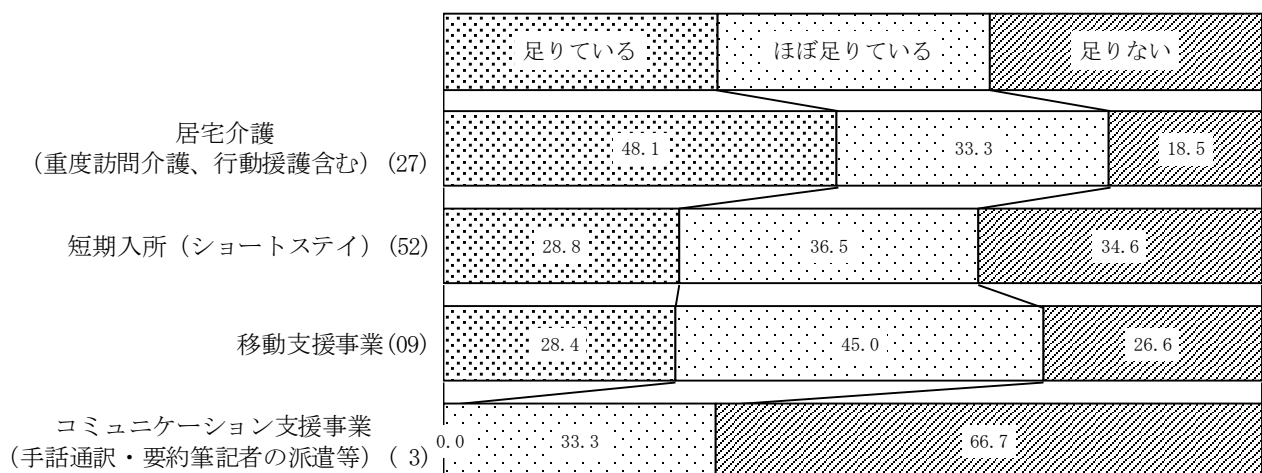
（1）サービス量が足りているか

問 30 現在利用されている障害福祉サービス等の量についてお聞きします。
あてはまるものについてそれぞれ回答を 1 つ選び、○をつけてください。

利用しているという回答の中では、全般に「足りている」、「ほぼ足りている」という回答が多くなっています。「足りない」という回答は、「短期入所（ショートステイ）」が 34.6% 「移動支援事業」が 26.6%、「居宅介護（重度訪問介護、行動援護含む）」が 18.5%となっています。

【問 30 サービス量が足りているか】

単位：%



※ 利用していると回答のあった方だけで集計しています。各項目横の（ ）で記載されている数は回答者数を表しています。

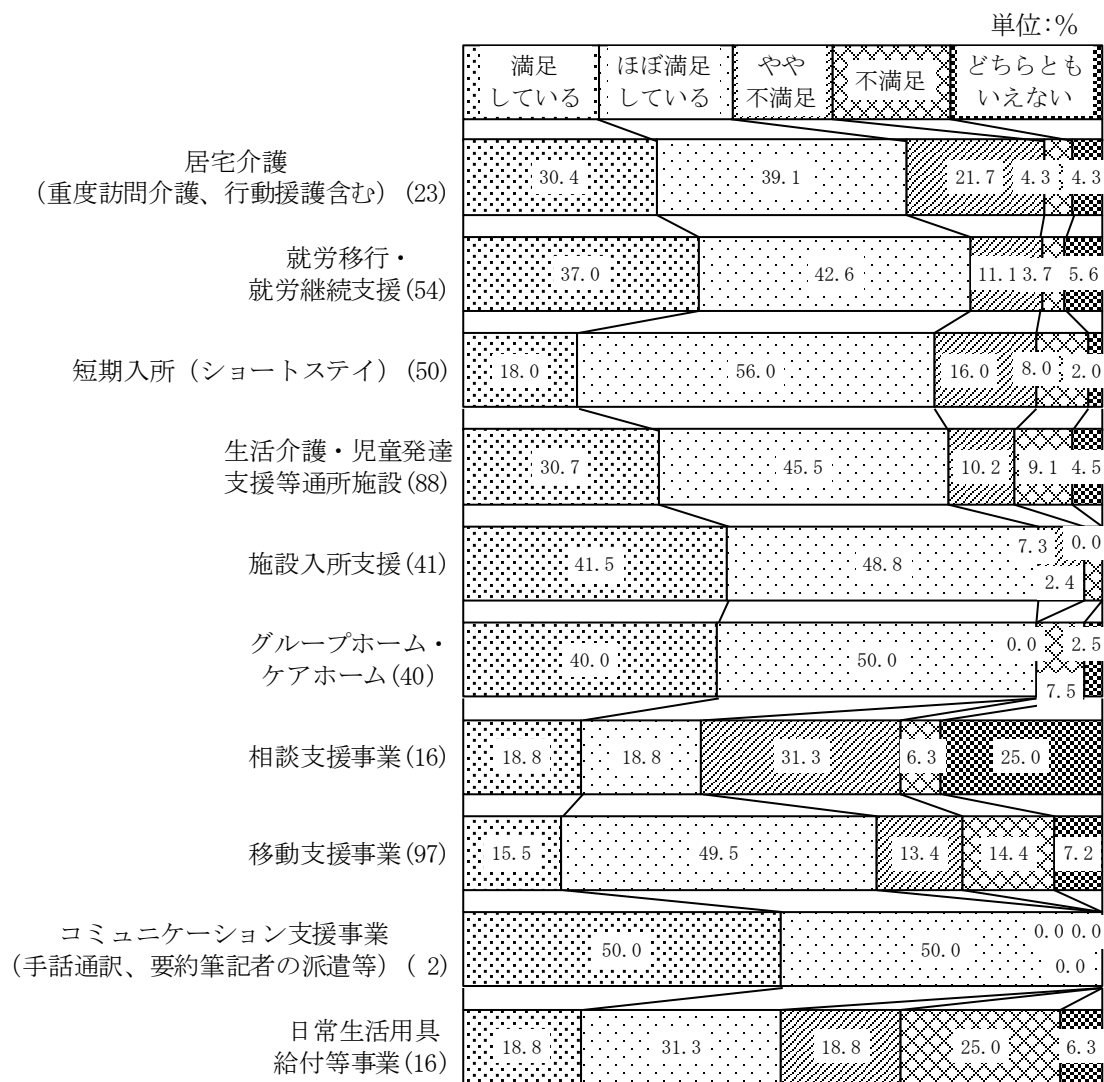
(2) サービス利用の満足度

問 31 利用されているサービスの内容についてお聞きします。

あてはまるものについてそれぞれ回答を1つ選び、○をつけてください。

利用しているという回答の中では、全般に「満足している」、「ほぼ満足している」という回答が多くなっています。「やや不満足」、「不満足」という回答は、「相談支援事業」、「日常生活用具給付等事業」でやや多くなっています。

【問 31 サービス利用の満足度】



※ 利用していると回答のあった方だけで集計しています。各項目横の()で記載されている数は回答者数を表しています。

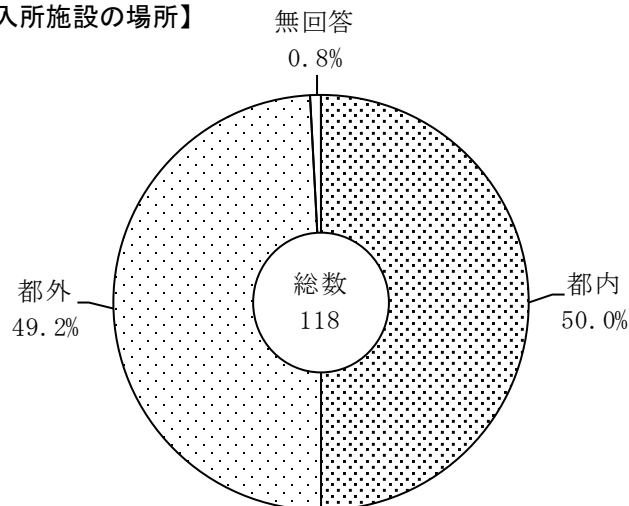
【B】施設入所支援(通勤寮含む)、病院、特別養護老人ホーム、児童施設等に入所されている方へ

(3) 入所施設の場所

問 32 現在入所されている施設はどちらにありますか。
いずれかを1つだけ選び、○をつけてください。

「都内」が50.0%、「都外」が49.2%となっています。

【問 32 入所施設の場所】

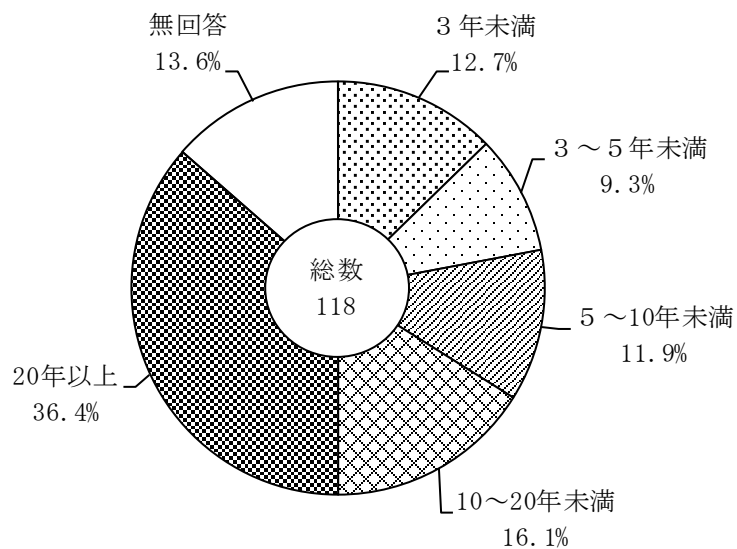


(4) 入所年数

問 33 施設に入所されて何年くらいですか

「20年以上」が36.4%と最も多く、次いで「10～20年未満」が16.1%、「3年未満」が12.7%、「5～10年未満」が11.9%、「3～5年未満」が9.3%となっています。

【問 33 入所年数】

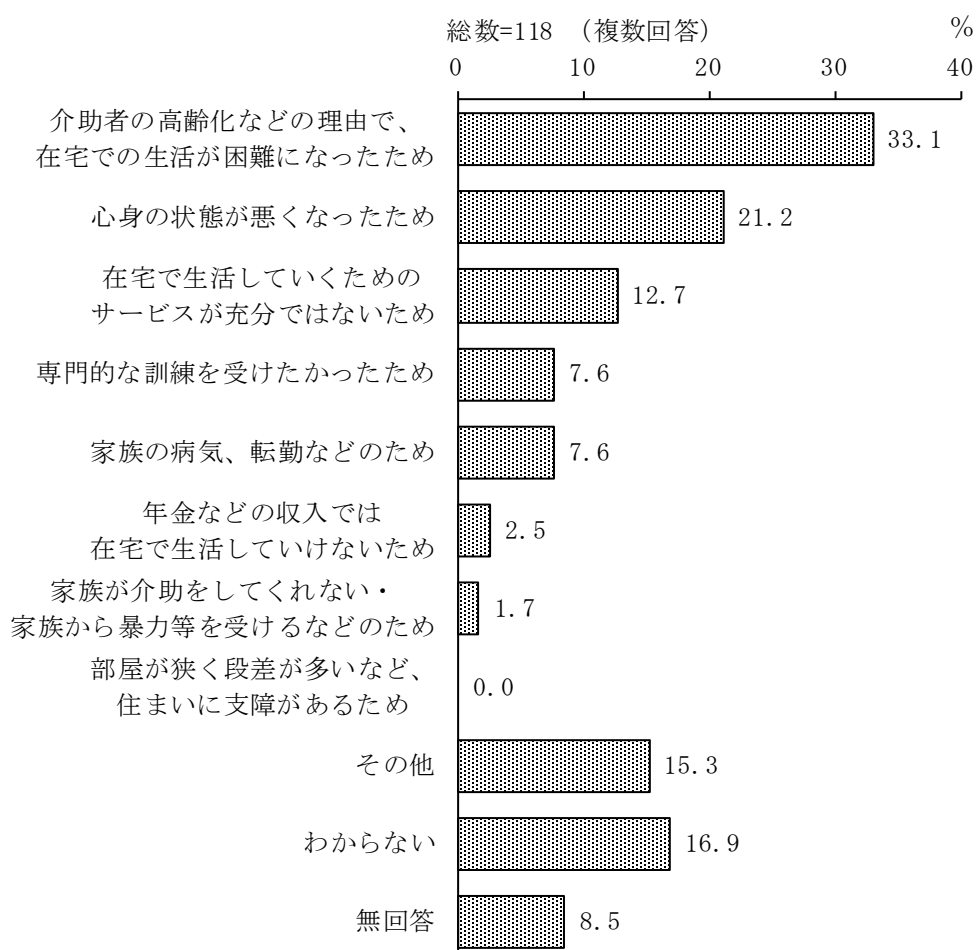


(5) 施設に入所することになった理由

問 34 現在の施設に入所することになった理由についてお聞きします。あてはまるものすべてを選び、○をつけてください。

「介助者の高齢化などの理由で、在宅での生活が困難になったため」が33.1%と最も多く、次いで「心身の状態が悪くなったため」が21.2%、「在宅で生活していくためのサービスが充分ではないため」が12.7%、「専門的な訓練を受けたかったため」と「家族の病気、転勤などのため」がそれぞれ7.6%となっています。「その他」では、「家族の事情で介助できなくなったため」などの回答がありました。

【問 34 施設に入所することになった理由】



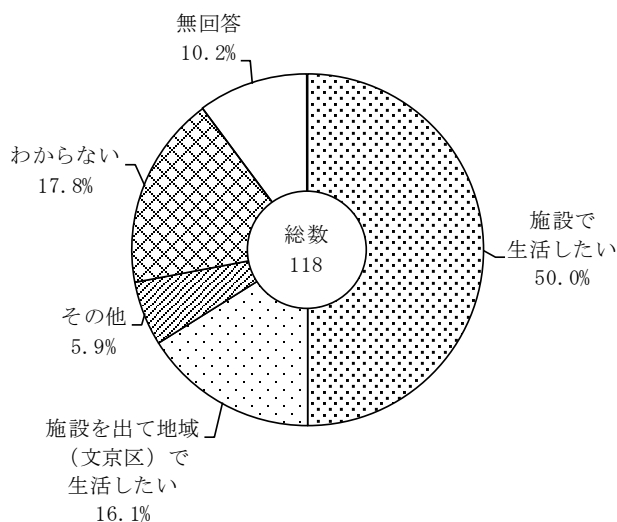
(6) 今後生活したい場所

問 35-① 今後、どちらで生活したいですか。

あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

「施設で生活したい」が50.0%、「施設を出て地域（文京区）で生活したい」が16.1%となっています。

【問 35-① 今後生活したい場所】

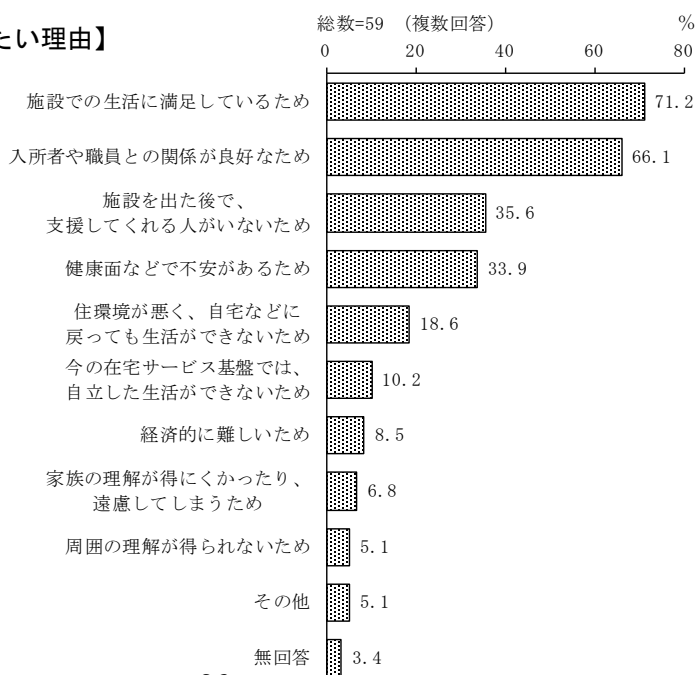


(7) 施設で生活したい理由

問 35-② 問 35-①で「施設で生活したい」に○をつけた方にお聞きします。施設で生活したい理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「施設での生活に満足しているため」が71.2%と最も多く、次いで「入所者や職員との関係が良好なため」が66.1%、「施設を出た後で、支援してくれる人がいないため」が35.6%、「健康面などで不安があるため」が33.9%、「住環境が悪く、自宅などに戻っても生活ができないため」が18.6%となっています。

【問 35-② 施設で生活したい理由】

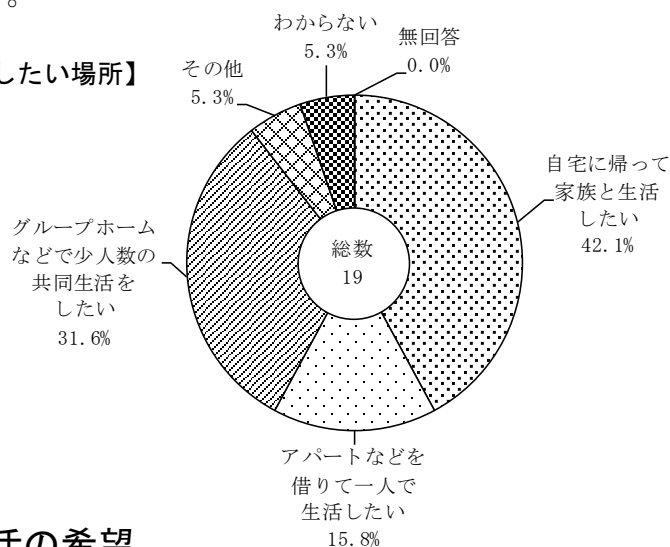


(8) 地域で生活したい場所

問 35-③ 問 35-①で「施設を出て地域（文京区）で生活したい」と答えた方にお聞きします。施設を退所した後、どちらで生活したいですか。あてはまるものを1つ選び、○をつけてください。

「自宅に帰って家族と生活したい」が42.1%と最も多く、次いで「グループホームなどで少人数の共同生活をしたい」が31.6%、「アパートなどを借りて一人で生活したい」が15.8%となっています。

【問 35-③ 地域で生活したい場所】

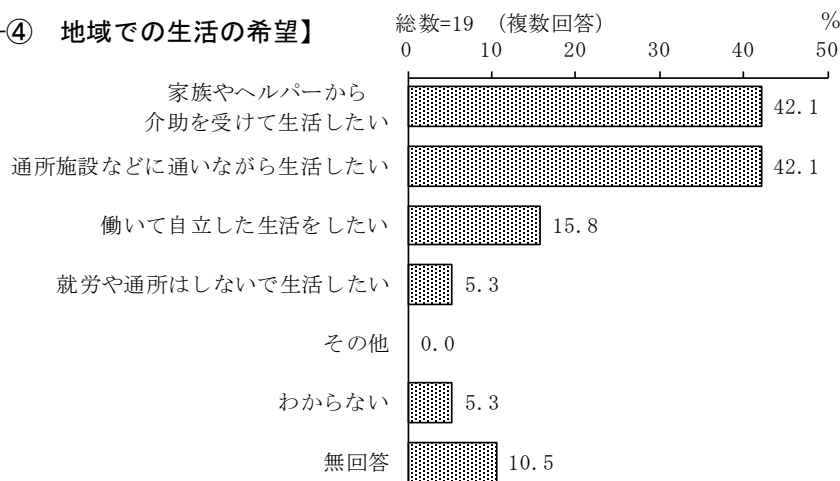


(9) 地域での生活の希望

問 35-④ 問 35-①で「施設を出て地域（文京区）で生活したい」と答えた方にお聞きします。施設を退所した後、どのような生活を送りたいですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「家族やヘルパーから介助を受けて生活したい」と「通所施設などに通いながら生活したい」がそれぞれ42.1%で最も多く、次いで「働いて自立した生活をしたい」が15.8%、「就労や通所はしないで生活したい」が5.3%となっています。

【問 35-④ 地域での生活の希望】



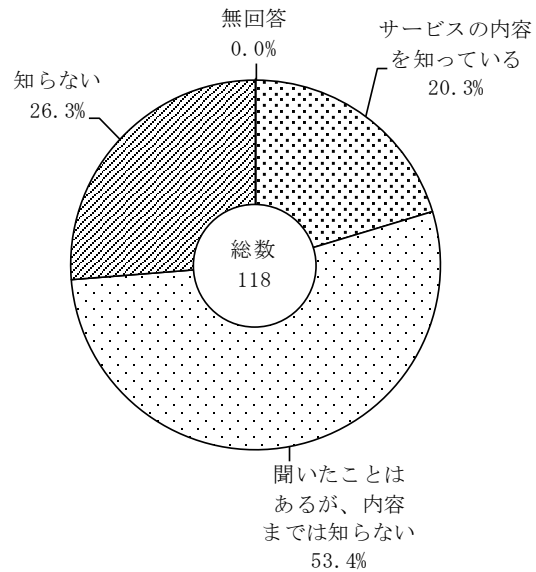
[C] 障害福祉サービス等を利用していない方へ

(10) 障害福祉サービス等の認知状況

問 36 障害福祉サービス等があることを知っていますか。
あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が 53.4%と最も多く、次いで「知らない」が 26.3%、「サービスの内容を知っている」が 20.3%となっています。

【問 36 障害福祉サービス等の認知状況】



(11) サービスの利用希望

問 37 全ての方にお聞きします。今後、利用、または利用継続を希望するサービスはありますか。あてはまるものをそれぞれ1つ選び、○をつけてください。

「利用したい」という回答は、「就労移行・就労継続支援」が 17.7%と最も多く、次いで「移動支援事業」が 16.0%、「生活介護・児童発達支援等通所施設」が 13.9%、「施設入所支援」が 13.5%、「グループホーム・ケアホーム」と「相談支援事業」がそれぞれ 13.1%となっています。

【問 37 サービスの利用希望】

サービス種別	総数=474				単位:%
	利用したい	利用したいと思わない	分からない	無回答	
居宅介護 (重度訪問介護、行動援護含む)	5.5	13.9	16.9	63.7	
就労移行・就労継続支援	17.7	10.3	12.0	59.9	
短期入所(ショートステイ)	11.8	11.6	15.2	61.4	
生活介護・児童発達支援等通所施設	13.9	9.5	14.6	62.0	
施設入所支援	13.5	10.1	16.5	59.9	
グループホーム・ケアホーム	13.1	9.5	18.1	59.3	
相談支援事業	13.1	6.3	16.9	63.7	
移動支援事業	16.0	8.9	11.6	63.5	
コミュニケーション支援事業 (手話通訳、要約筆記者の派遣等)	3.0	13.9	17.5	65.6	
日常生活用具給付等事業	6.1	11.2	18.4	64.3	

10. 区におけるサービスについて

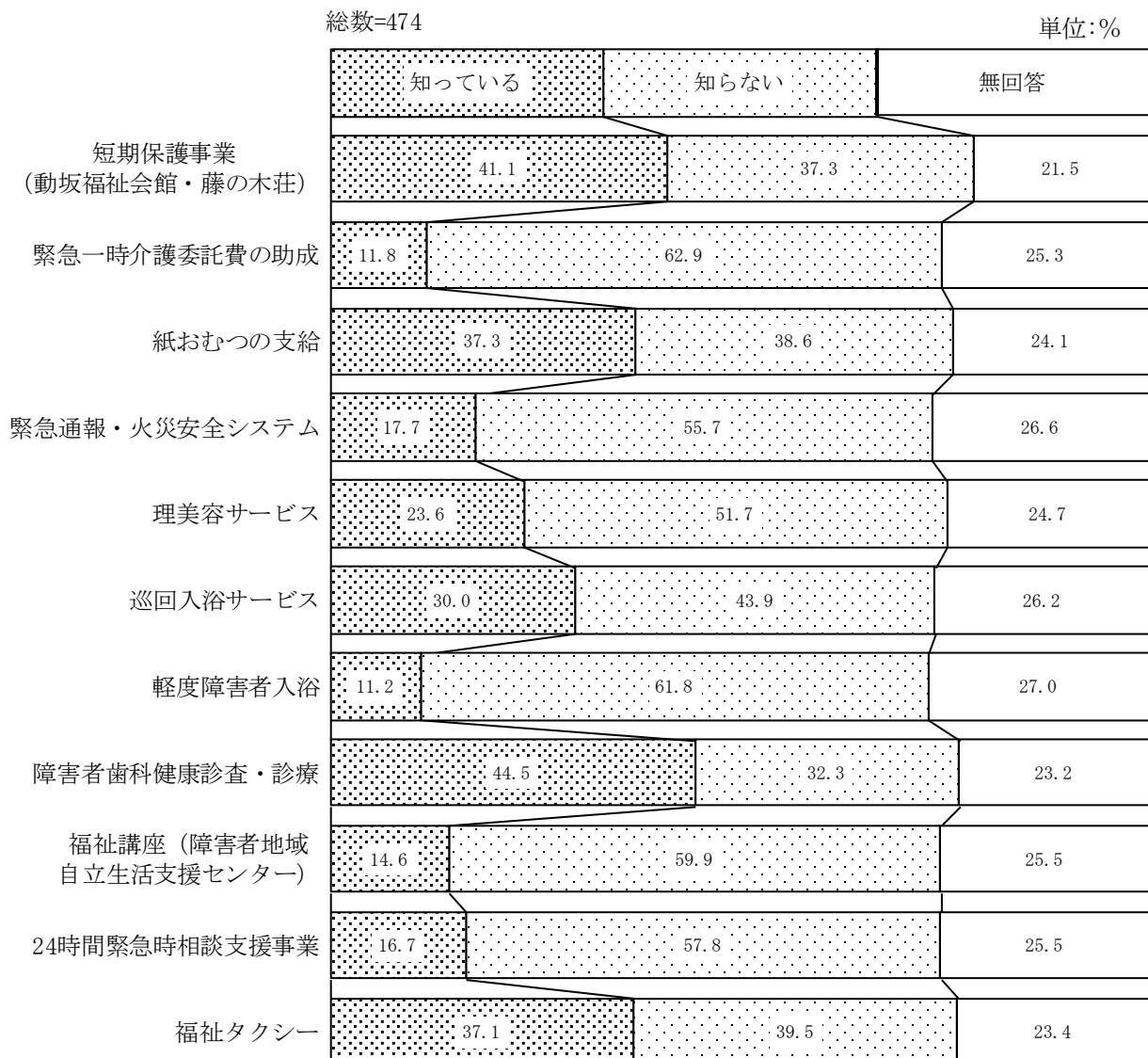
(1) 区におけるサービスの認知状況・利用状況・利用意向

問 38 現在区で行っている、障害のある方への日常生活の支援について、利用状況と利用の意向をお聞かせください。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選び、○をつけてください。

①-1 文京区のサービスの認知状況

「知っている」という回答は、「障害者歯科健康診査・診療」が44.5%と最も多く、次いで「短期保護事業（動坂福祉会館・藤の木荘）」が41.1%、「紙おむつの支給」が37.3%、「福祉タクシー」が37.1%、「巡回入浴サービス」が30.0%となっています。

【問 38①-1 文京区のサービスの認知状況】

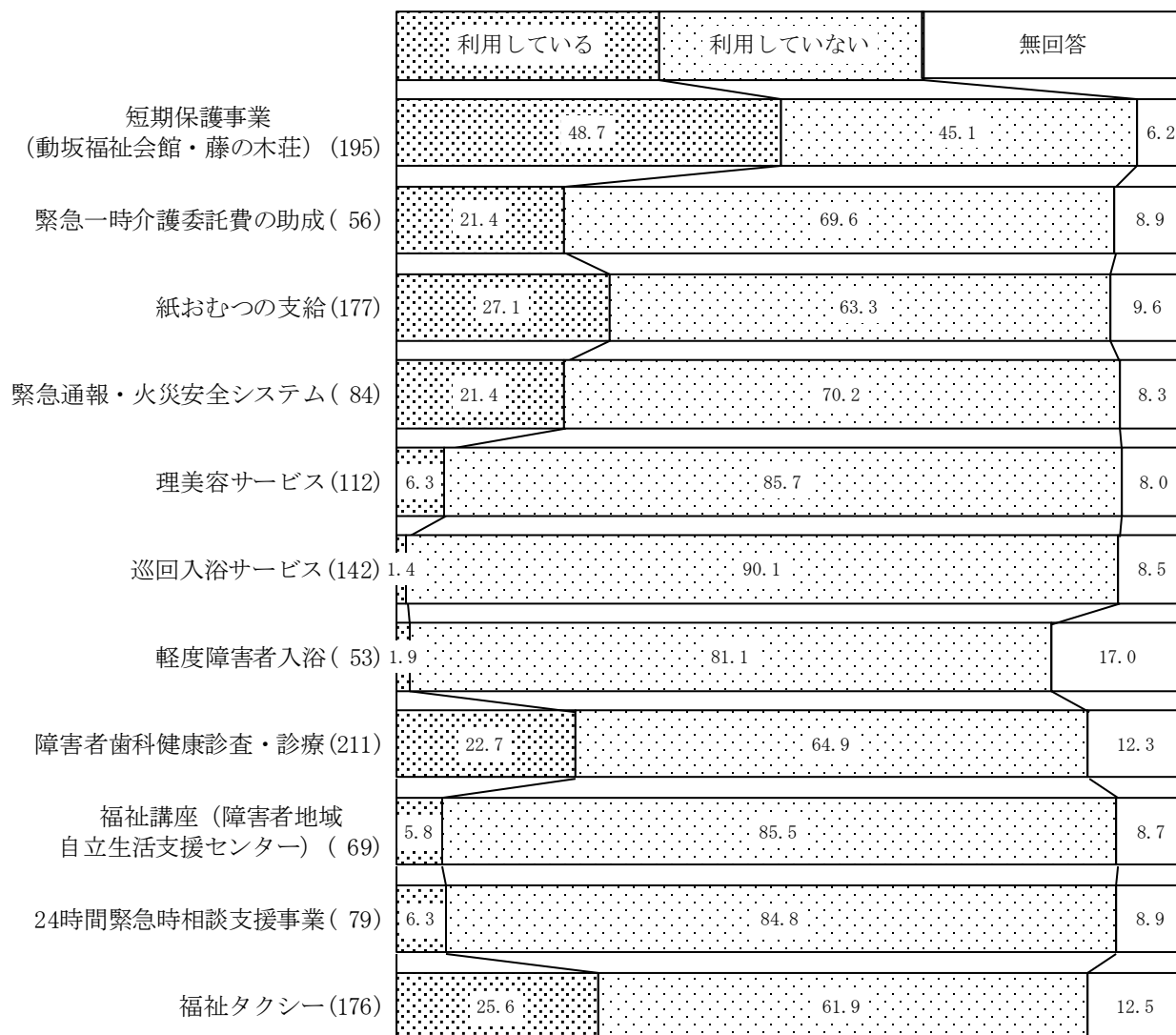


①-2 文京区のサービスの利用状況

「利用している」という回答は、「短期保護事業（動坂福祉会館・藤の木荘）」が48.7%と最も多く、次いで「紙おむつの支給」が27.1%、「福祉タクシー」が25.6%、「障害者歯科健康診査・診療」が22.7%、「緊急一時介護委託費の助成」と「緊急通報・火災安全システム」がそれぞれ21.4%となっています。

【問 38①-2 文京区のサービスの利用状況】

単位:%



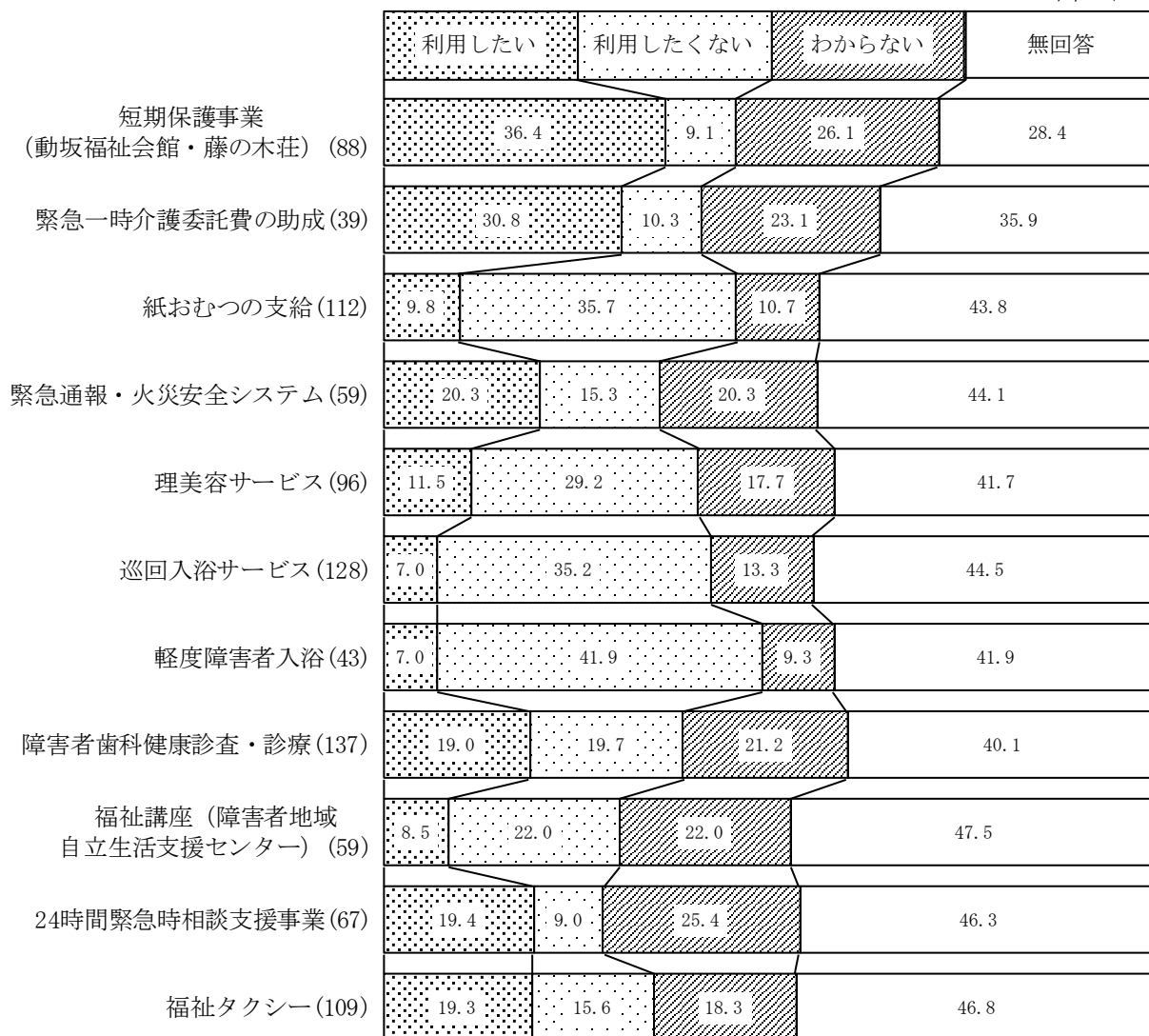
※ 各項目横の () で記載されている数は回答者数を表しています。

①-3 文京区サービスの利用意向

「利用したい」という回答は、「短期保護事業（動坂福祉会館・藤の木荘）」が36.4%と最も多く、次いで「緊急一時介護委託費の助成」が30.8%、「緊急通報・火災安全システム」が20.3%、「24時間緊急時相談支援事業」が19.4%、「福祉タクシー」が19.3%となっています。

【問 38①-3 文京区サービスの利用意向】

単位：%



※ 各項目横の（ ）で記載されている数は回答者数を表しています。

②-1 社会福祉協議会のサービスの認知状況

「知っている」という回答は、「車いすの貸し出し」が29.7%と最も多く、次いで「ファミリーサポートセンター」が27.2%、「福祉車両の貸し出し」が19.6%、「いきいきサービス（ホームヘルプ、食事、緊急通報）」が12.9%、「権利擁護センター『あんしんさぼーと文京』」が12.7%となっています。

【問 38②-1 社会福祉協議会のサービスの認知状況】

単位：%

	知っている	知らない	無回答
権利擁護センター 「あんしんさぼーと文京」	12.7	62.2	25.1
いきいきサービス (ホームヘルプ、食事、緊急通報)	12.9	61.6	25.5
車いすの貸し出し	29.7	44.9	25.3
福祉車両の貸し出し	19.6	54.6	25.7
ファミリーサポートセンター	27.2	47.0	25.7

②-2 文京区のサービスの利用状況

「利用している」という回答は、「ファミリーサポートセンター」が10.1%と最も多く、次いで「権利擁護センター『あんしんさぼーと文京』」が6.7%となっています。

【問 38②-2 社会福祉協議会のサービスの利用状況】

単位：%

	利用している	利用していない	無回答
権利擁護センター 「あんしんさぼーと文京」 (60)	6.7	83.3	10.0
いきいきサービス (ホームヘルプ、食事、緊急通報) (61)	3.3	83.6	13.1
車いすの貸し出し (141)	2.8	84.4	12.8
福祉車両の貸し出し (93)	2.2	90.3	7.5
ファミリーサポートセンター (129)	10.1	79.8	10.1

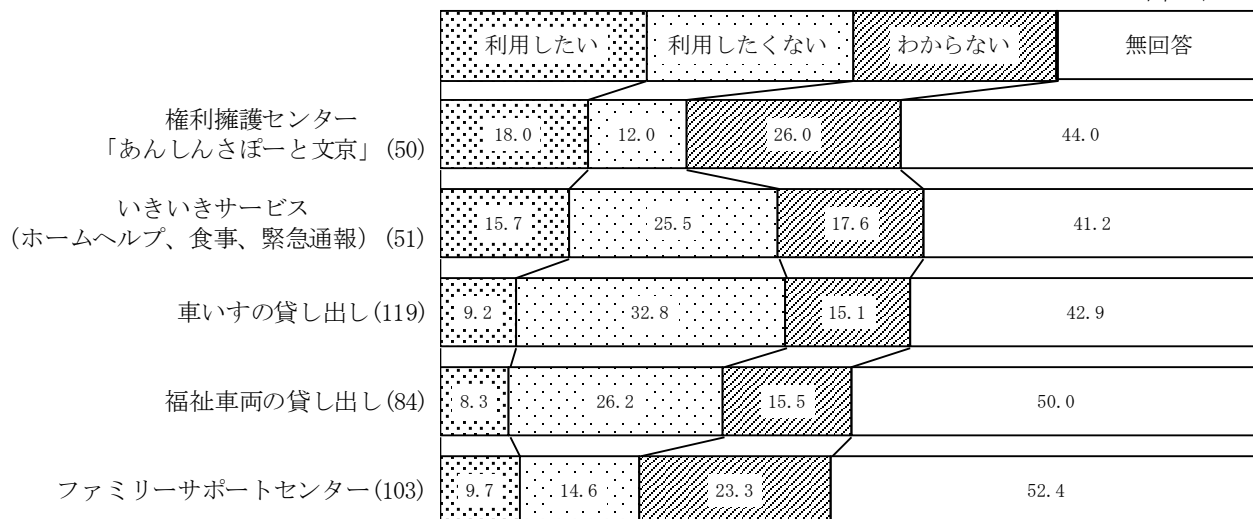
※ 各項目横の（ ）で記載されている数は回答者数を表しています。

②-3 文京区サービスの利用意向

「利用したい」という回答は、「権利擁護センター『あんしんさぽーと文京』」が18.0%と最も多く、次いで「いきいきサービス（ホームヘルプ、食事、緊急通報）」が15.7%、「ファミリーサポートセンター」が9.7%、「車いすの貸し出し」が9.2%、「福祉車両の貸し出し」が8.3%となっています。

【問 38②-3 社会福祉協議会のサービスの利用意向】

単位:%



※ 各項目横の（ ）で記載されている数は回答者数を表しています。

11. 災害対策・情報提供について

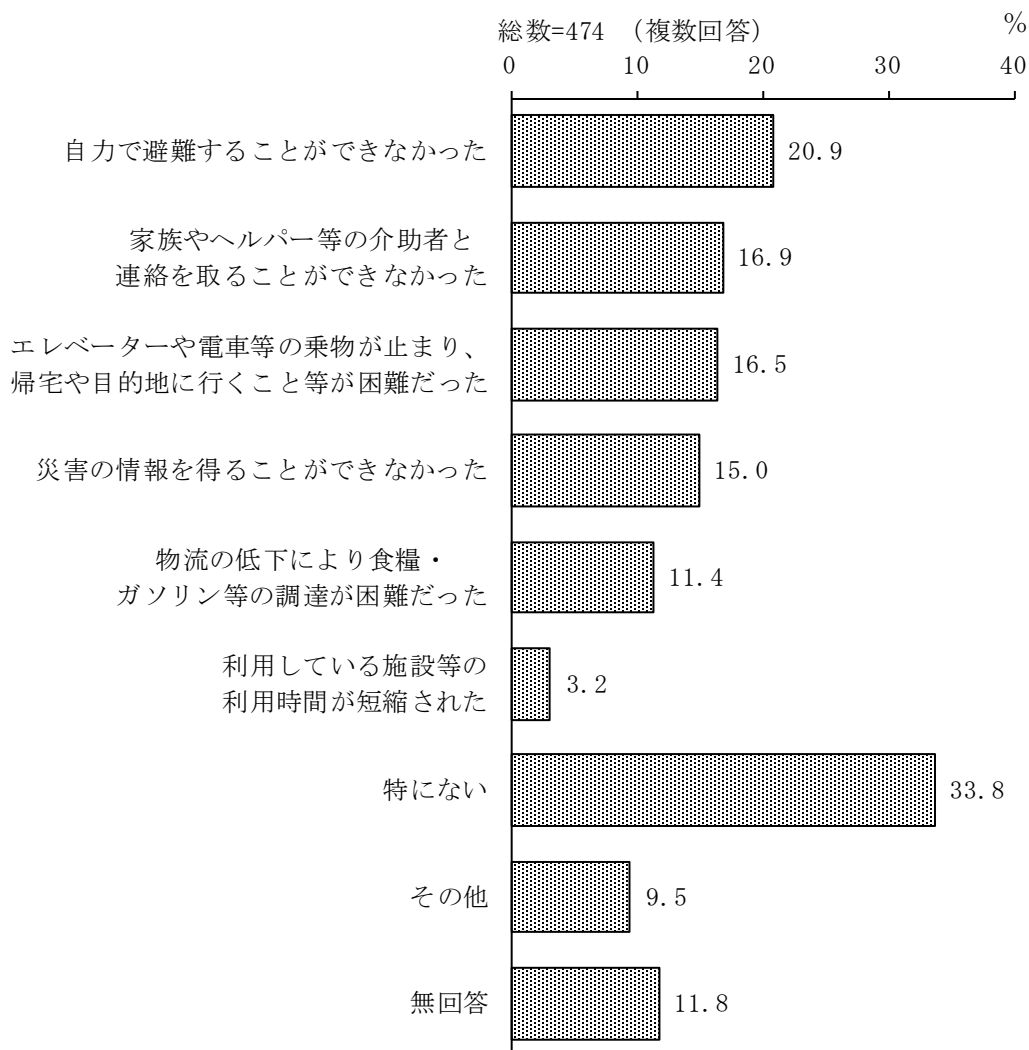
(1) 東日本大震災において困ったこと

問 39 東日本大震災（平成 23 年 3 月 11 日）において、あなたが困ったことは何ですか。

あてはまるものすべてを選び、○をつけてください。

「自力で避難することができなかった」が 20.9%と最も多く、次いで「家族やヘルパー等の介助者と連絡を取ることができなかった」が 16.9%、「エレベーターや電車等の乗物が止まり、帰宅や目的地に行くこと等が困難だった」が 16.5%、「災害の情報を得ることができなかった」が 15.0%、「物流の低下により食糧・ガソリン等の調達が困難だった」が 11.4%となっています。「特にない」は 33.8%でした。

【問 39 東日本大震災において困ったこと】

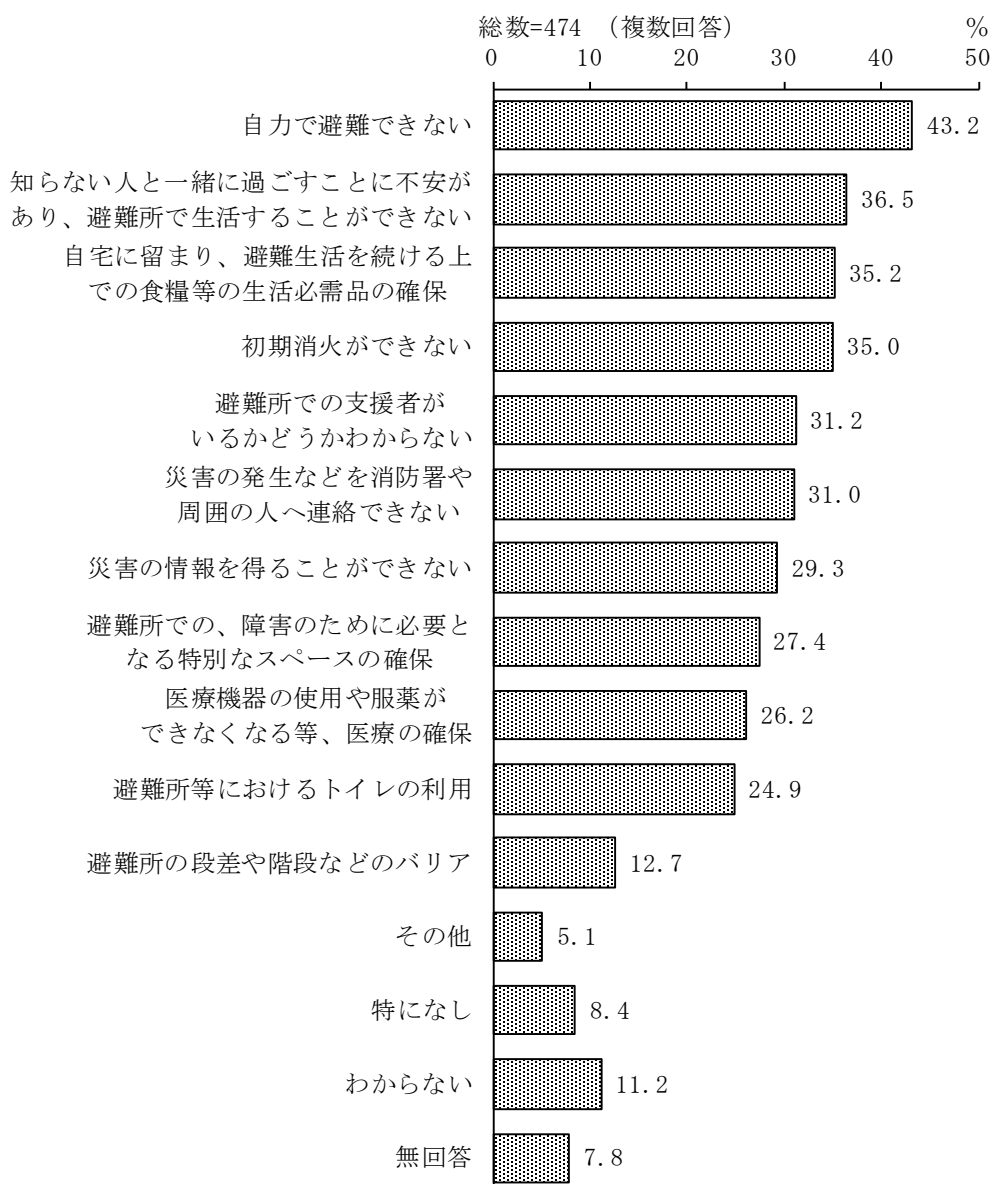


(2) 災害に関して不安に感じていること

問 40 地震や火事などの災害に関してあなたが不安に感じていることは何ですか。
 あてはまるものすべてを選び、○をつけてください。

「自力で避難できない」が43.2%と最も多く、次いで「知らない人と一緒に過ごすことに不安があり、避難所で生活することができない」が36.5%、「自宅に留まり、避難生活をする上での食糧等の生活必需品の確保」が35.2%、「初期消火ができない」が35.0%、「避難所での支援者がいるかどうかわからない」が31.2%となっています。

【問 40 災害に関して不安に感じていること】



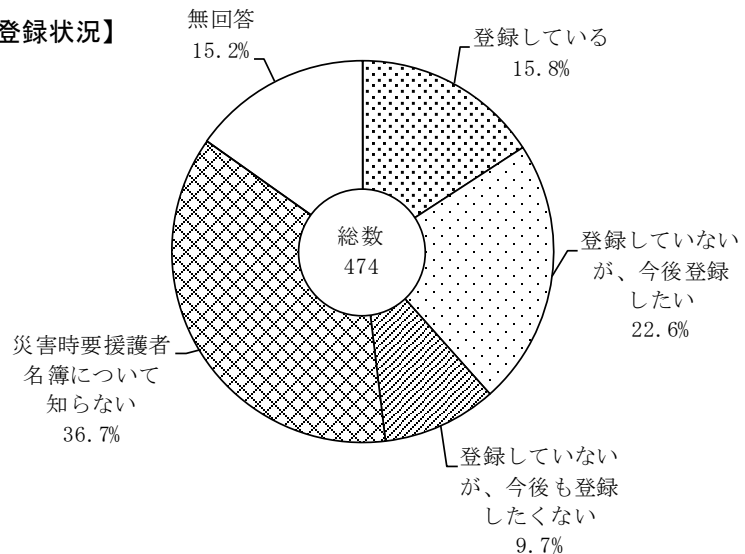
(3) 災害時要援護者名簿への登録状況

問 41-① 災害時要援護者名簿についてお聞きします。あなたは現在登録をしていますか。あてはまるものを1つ選び、○をつけてください。

「災害時要援護者名簿について知らない」が36.7%と最も多く、次いで「登録していないが、今後登録したい」が22.6%、「登録している」が15.8%、「登録していないが、今後登録したくない」が9.7%となっています。

【問 41-① 災害時要援護者名簿への登録状況】

※災害時要援護者名簿については
48 ページをご参照ください。

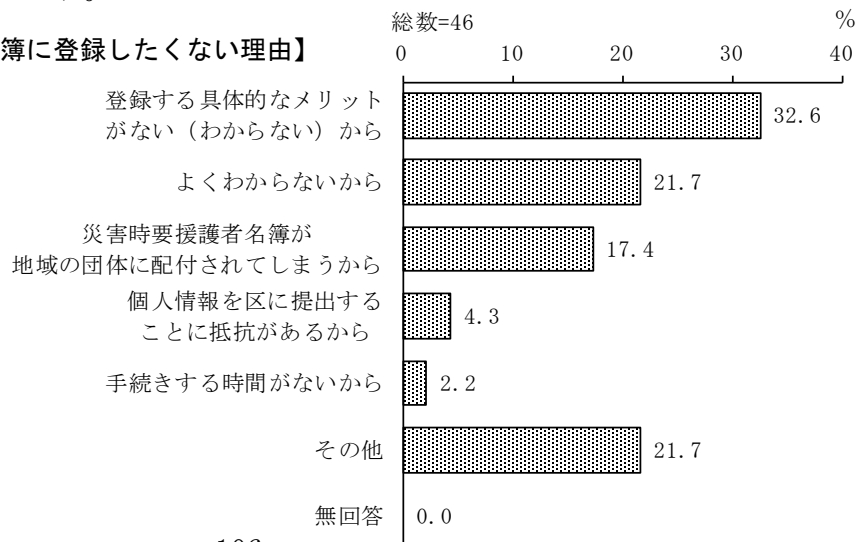


(4) 災害時要援護者名簿に登録したくない理由

問 41-② 問 41-①で「登録していないが、今後も登録したくない」と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「登録する具体的なメリットがない（わからない）から」が32.6%と最も多く、次いで「よくわからないから」が21.7%、「災害時要援護者名簿が地域の団体に配付されてしまうから」が17.4%となっています。

【問 41-② 災害時要援護者名簿に登録したくない理由】

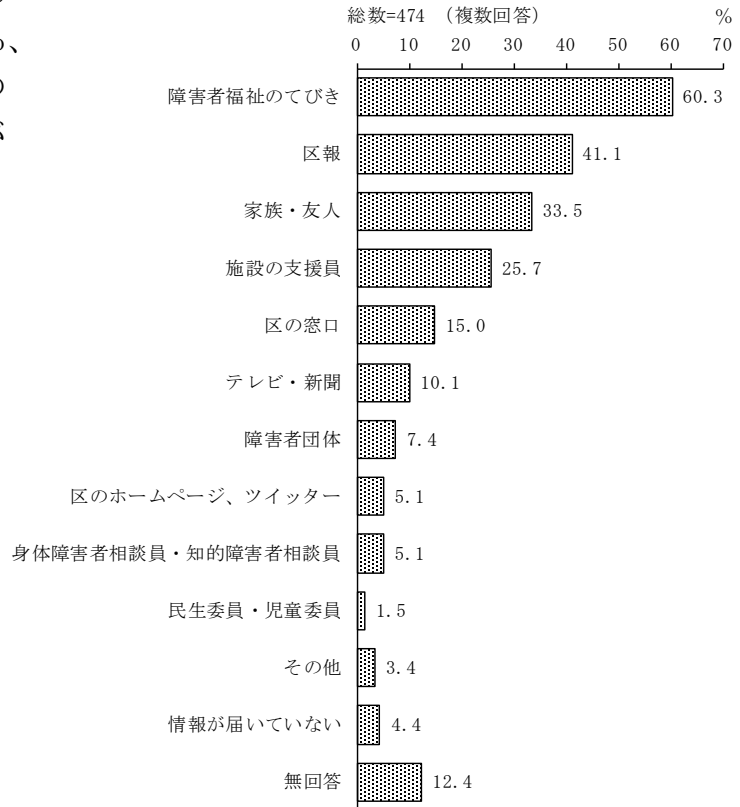


(5) サービスなどの情報源

問 42 区が実施している障害者に対するサービスなどの情報は、あなたに届いていませんか。情報源となっているものについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。

「障害者福祉のてびき」が60.3%と最も多く、次いで「区報」が41.1%、「家族・友人」が33.5%、「施設の支援員」が25.7%、「区の窓口」が15.0%となっています。

【問 42A サービスなどの情報源】



「障害者福祉のてびき」、「区報」という回答の割合は一人暮らしの方よりも家族と同居している方で多く、「施設の支援員」という回答の割合は一人暮らしとその他(施設入所等)の方で多くなっています。また、「情報が届いていない」という回答の割合は、一人暮らしの方で多くなっています。

【問 42B サービスなどの情報源 (家族構成別)】

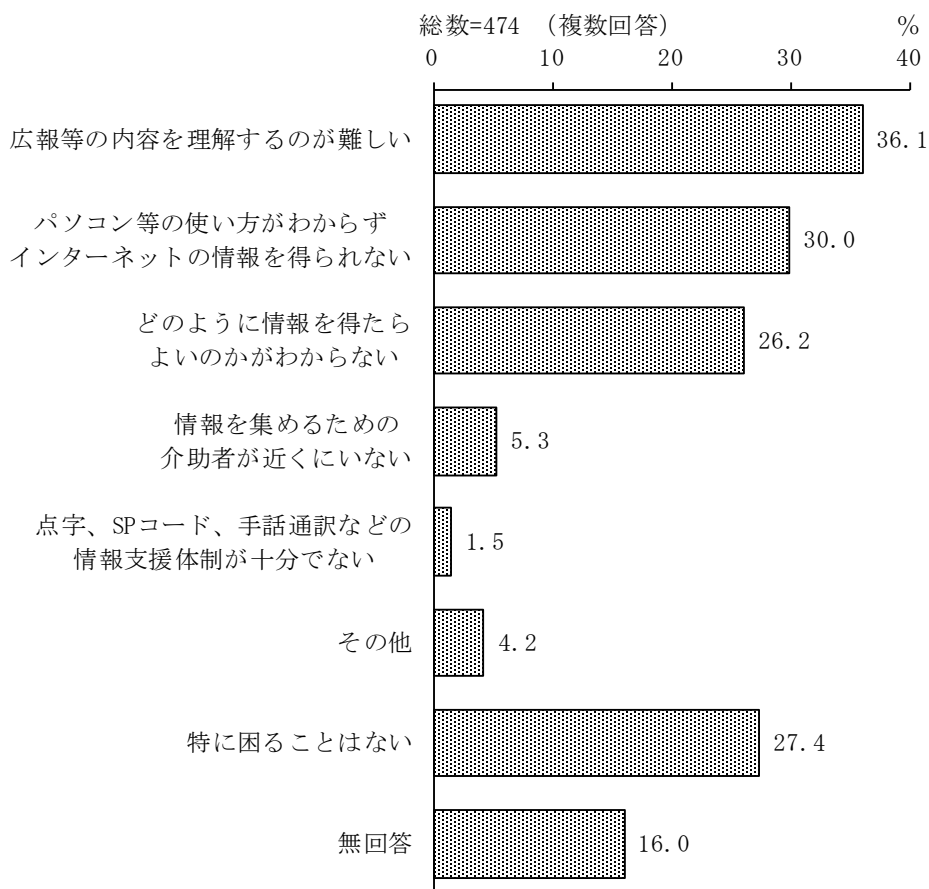
		全体	障害者福祉のてびき	区の窓口	区報	区のホームページ、ツイッター	民生委員・児童委員	知的障害者相談員・身体障害者相談員	障害者団体	家族・友人	施設の支援員	テレビ・新聞	その他	情報が届いていない	無回答
		上段：実数	下段：割合												
	全体	474	286	71	195	24	7	24	35	159	122	48	16	21	59
		100.0	60.3	15.0	41.1	5.1	1.5	5.1	7.4	33.5	25.7	10.1	3.4	4.4	12.4
家族構成	家族と同居	318	250	54	175	23	4	17	28	138	63	37	7	2	25
		100.0	78.6	17.0	55.0	7.2	1.3	5.3	8.8	43.4	19.8	11.6	2.2	0.6	7.9
	一人暮らし	42	10	6	3	-	1	2	1	5	12	5	3	7	7
		100.0	23.8	14.3	7.1	-	2.4	4.8	2.4	11.9	28.6	11.9	7.1	16.7	16.7
	その他	103	21	9	15	1	1	5	5	15	43	6	6	11	24
		100.0	20.4	8.7	14.6	1.0	1.0	4.9	4.9	14.6	41.7	5.8	5.8	10.7	23.3
	無回答	11	5	2	2	-	1	-	1	1	4	-	-	1	3
		100.0	45.5	18.2	18.2	-	9.1	-	9.1	9.1	36.4	-	-	9.1	27.3

(6) 情報を得たいときに困ること

問 43 あなたが必要な情報を得たいときに、困ることはありますか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

「広報等の内容を理解するのが難しい」が 36.1%と最も多く、次いで「パソコン等の使い方がわからずインターネットの情報を得られない」が 30.0%、「どのように情報を得たらよいのかがわからない」が 26.2%となっています。

【問 43 情報を得たいときに困ること】



12. 生活のしづらさについて

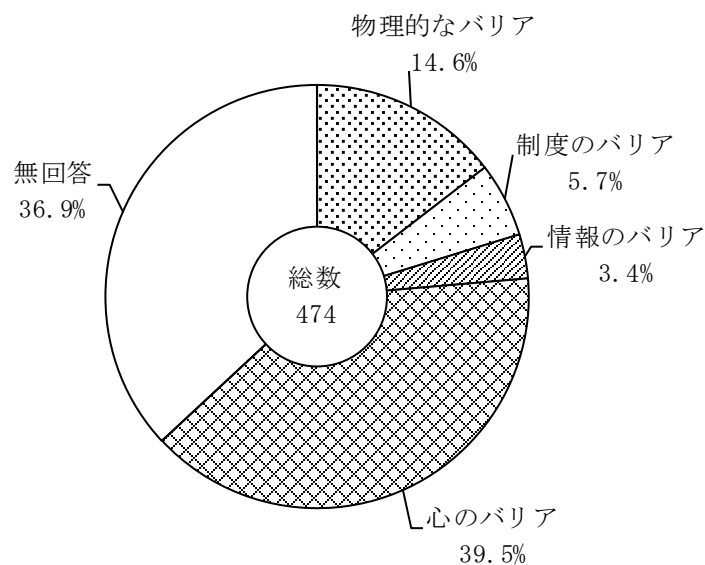
(1) 日々の生活の中で感じるバリアについて

問 44 日々の生活の中で感じる生活のしづらさについてお聞きします。
障害者が生活する中で不便と感じていることについて、以下の4つのバリア(=“不便なこと・困ること”)に分けられるとされています。日々の生活の中で、あなたはどのバリアを1番強く感じますか。いずれか1つの番号を選び、○をつけてください。

※ 4つのバリアについては、51ページをご参照ください。

「心のバリア」が39.5%と最も多く、次いで「物理的なバリア」が14.6%、「制度のバリア」が5.7%、「情報のバリア」が3.4%となっています。

【問 44 日々の生活の中で感じるバリアについて】

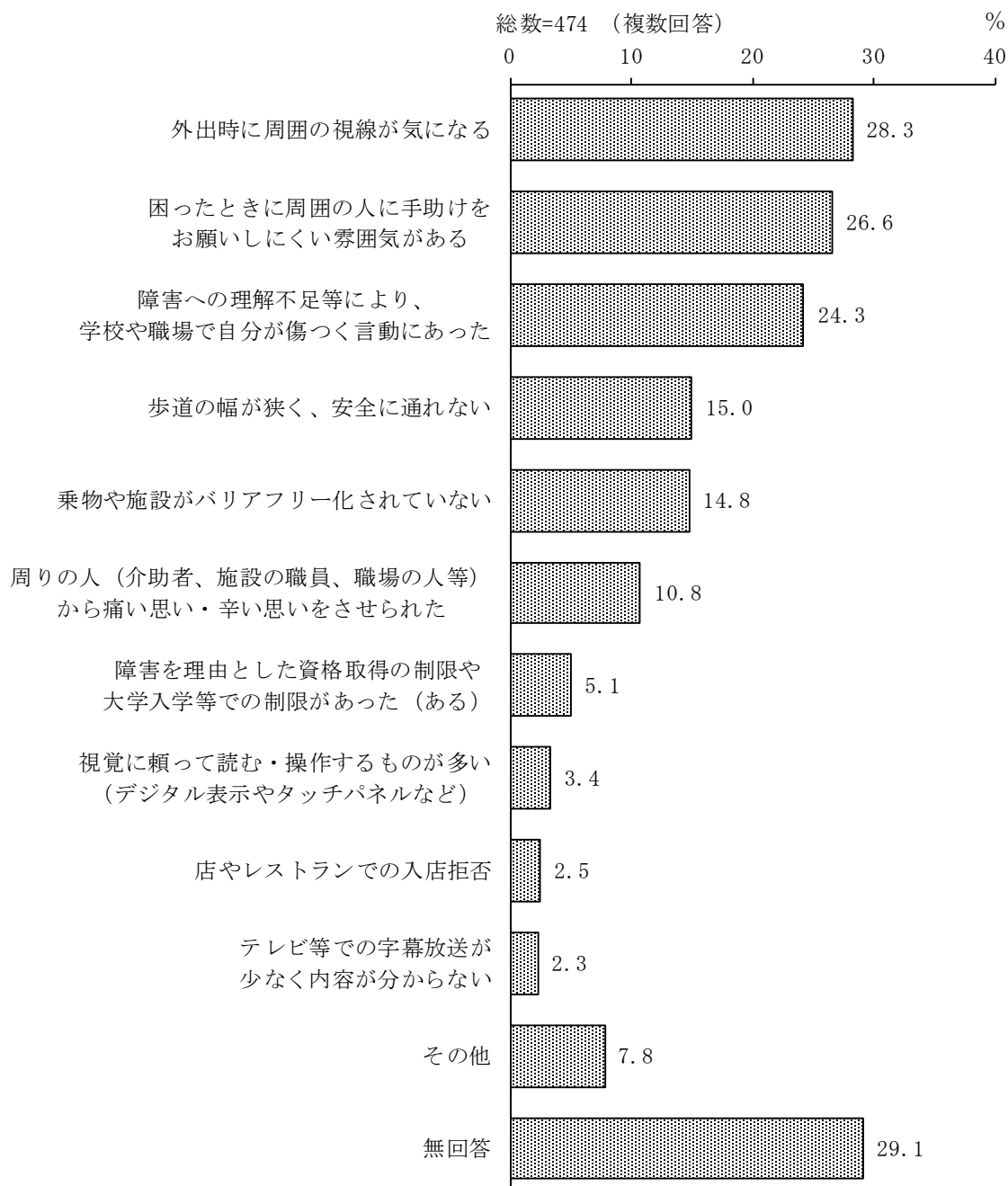


(2) 障害者に対する理解不足や生活のしづらさを感じる理由

問 45 どのような理由で障害者に対する理解不足や生活のしづらさを感じますか。
 あてはまるものをすべて選び、○をつけてください。

「外出時に周囲の視線が気になる」が 28.3%と最も多く、次いで「困ったときに周囲の人に手助けをお願いしにくい雰囲気がある」が 26.6%、「障害への理解不足等により、学校や職場で自分が傷つく言動にあった」が 24.3%、「歩道の幅が狭く、安全に通れない」が 15.0%、「乗物や施設がバリアフリー化されていない」が 14.8%となっています。

【問 45 障害者に対する理解不足や生活のしづらさを感じる理由】

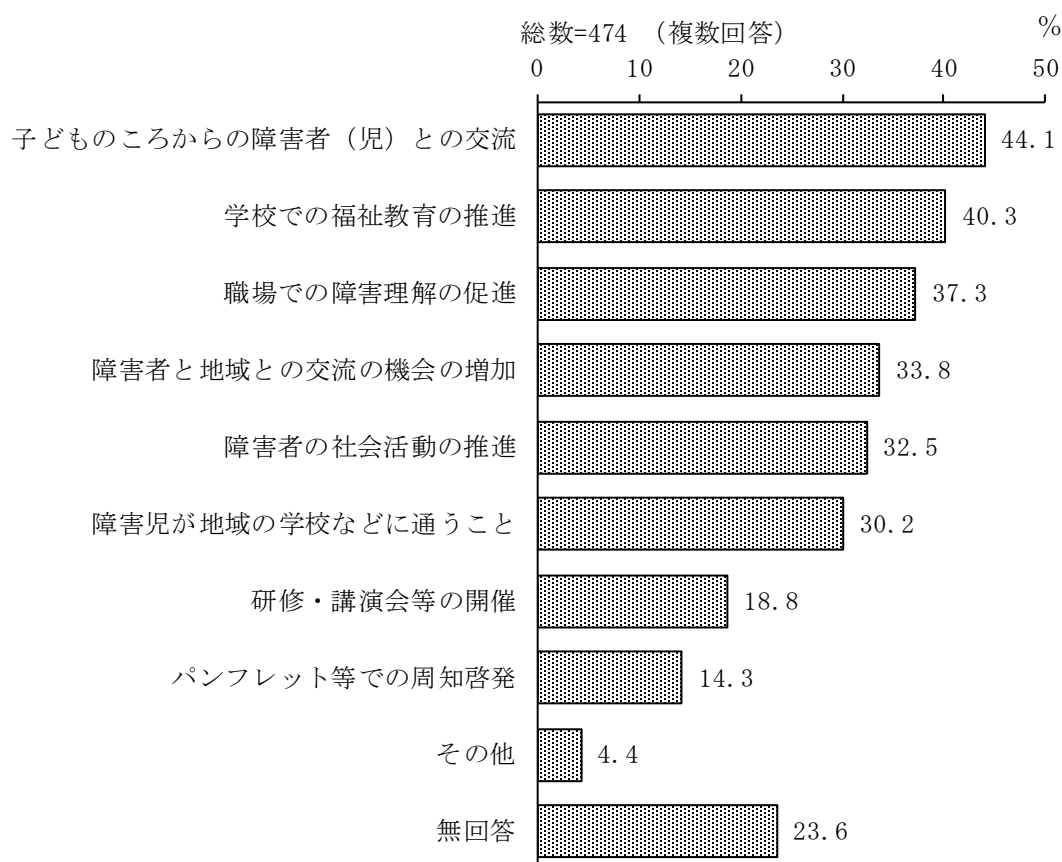


(3) 障害理解を進めていくために必要なこと

問 46 どのように障害理解を進めていくべきだと思いますか。
あてはまるものをすべて選び、○をつけてください。

「子どもたちからの障害者（児）との交流」が44.1%と最も多く、次いで「学校での福祉教育の推進」が40.3%、「職場での障害理解の促進」が37.3%、「障害者と地域との交流の機会の増加」が33.8%、「障害者の社会活動の推進」が32.5%となっています。

【問 46 障害理解を進めていくために必要なこと】



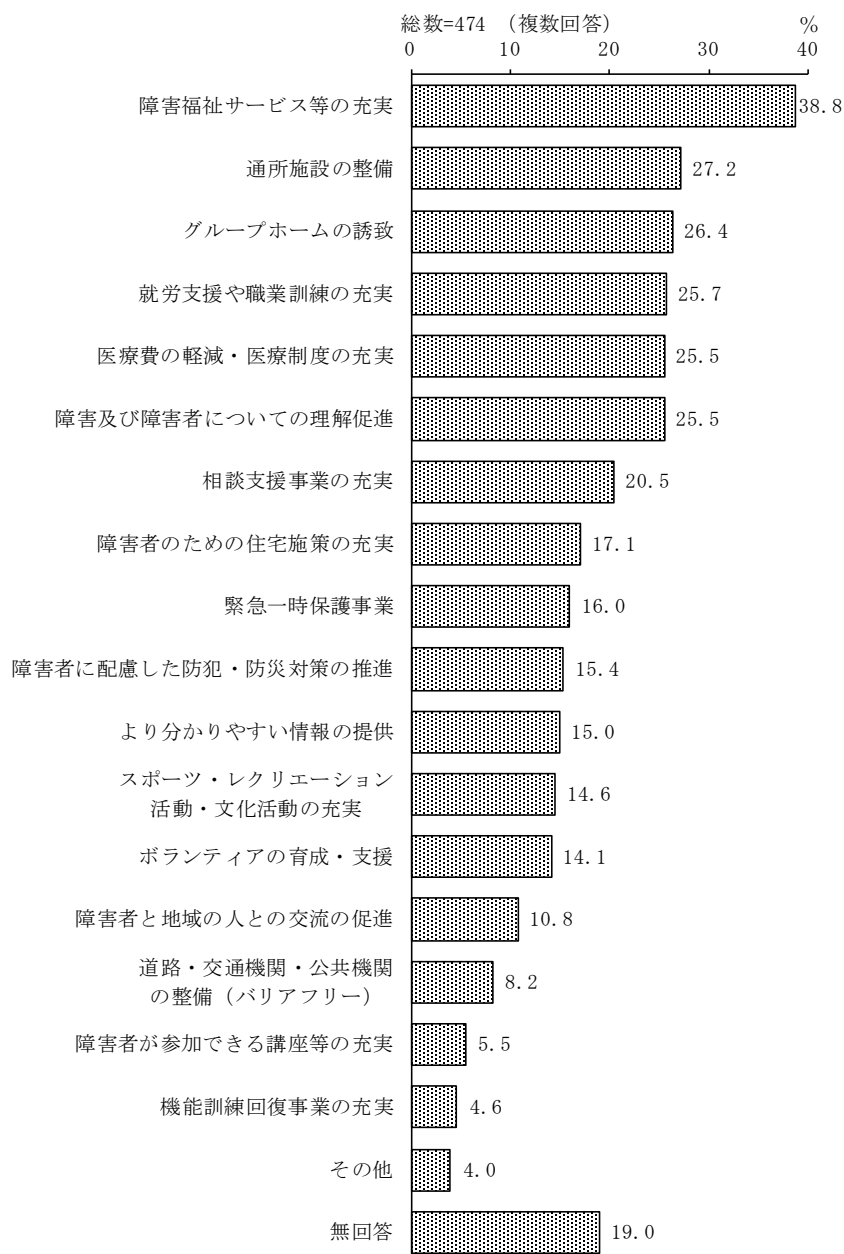
13. 要望事項

(1) 今後力を入れて欲しい施策や要望

問47 今後力を入れて欲しい施策や要望をお答えください。
あてはまるもの5つまで選び、○をつけてください。

「障害福祉サービス等の充実」が38.8%と最も多く、次いで「通所施設の整備」が27.2%、「グループホームの誘致」が26.4%、「就労支援や職業訓練の充実」が25.7%、「医療費の軽減・医療制度の充実」と「障害及び障害者についての理解促進」がそれぞれ25.5%となっています。

【問47 今後力を入れて欲しい施策や要望】



14. 自由意見

問 48 この調査を通じて選択肢やその他の欄等だけでは表現しきれなかったこと、ご意見などがありましたら、自由にお書きください。

自由意見は148件ありました。「福祉」についての意見が44.6%と最も多く、次いで「行政」が16.2%、「教育・療育」が14.9%、「障害理解」と「将来」がそれぞれ13.5%となっています。

【問 48 自由意見】

上段：実数 下段：割合	総数	福祉	行政	教育・療育	障害理解	将来	雇用・就労	障害・疾患	情報・相談	生活環境	保健・医療	その他
自由意見	148 100.0	66 44.6	24 16.2	22 14.9	20 13.5	20 13.5	14 9.5	13 8.8	12 8.1	12 8.1	5 3.4	63 42.6

◆主な意見（内容は要約・省略しています）

①福祉

「就学前までは何の問題もなくキッズルームを利用していました。小学校入学後は、動坂と藤の木荘は施設が遠く、定員も2名ということで、利用する気になれません。兄弟の卒業式等、同席が難しい学校行事の際や、PTA 活動時、地域の児童館等で、短時間の見守りをしていただけると助かります。」（10歳未満／男性／知的障害）

「中学から放課後の居場所がもっと多く受け入れられるように。家庭、家族の状況から優先的に受けられるサービス補助。手帳をもっていなくても、生活に支障のある子どもが受けられるサービス。」（10歳未満／女性／知的障害、ダウン症）

「グループホームに入所しています。スタッフの方の数が足りません。9名を2人のスタッフがみていますので、お散歩（車椅子で）をいっしょに行ってもらいたくとも出来ず、不安を持ったまま連れていかねばならず、断念するわけです。もう少しゆったりした人数で支援してもらいたと思います。」（60代／女性／知的障害）

「重度利用者のグループホーム、ケアホーム、親子二世帯のケア付き住宅がもっとたくさん出来ればいいと思う。」（40代／女性／知的障害）

「グループホーム設立はありがたいことですが、施設もやはり必要なのではないのでしょうか？ 箱物もきりすてないでもらいたいです。」（20代／男性／知的障害）

「移動支援を作業所からでも利用できるようにして下さい。自宅からと学校からだけ OK で、

作業所からは利用できないのは大変不便です。きちんと支援員から引き継げば安全だと思います。」(10代/女性/知的障害、自閉症・自閉傾向)

②行政

「虐待防止センターの知識が浅い。就労支援センターの人員が足りないのか、コミュニケーションを十分に取れてなく、誤解されてるのではと感じる事がある。」(20代/男性/知的障害)

「区の福祉窓口に行くと、内容を理解している人が2人位しかいなく、すごく待たされたり、わかる人がいなく、帰って出直すことが何度もあります。制度のことなどは職員が全員把握しているべきだと思います。」(10代/女性/知的障害、肢体不自由)

③教育・療育

「小学校に入ってから放課後の使い方にも不安があります。障害者を放課後遊ばせるのはとても大変なので、仕事をしていないお母さんでも使える学童がたくさんあるとたいへん助かります。」(10歳未満/男性/知的障害、自閉症・自閉傾向)

「就学前の幼児ですが、公立小学校への進学の際、学区の小学校に支援級が無い(支援を受けられない)ことで非常に悩んでおります。ただでさえ、移動が困難なのに、徒歩では通うことができない程遠い支援級は6年間通学するのは大変です(送迎者も)。」(10歳未満/男性/知的障害、自閉症・自閉傾向)

「軽度の知的障害で、小学、中学では通級指導を受けていました。中学から高校進学にあたって、障害者向けの進路選択の情報提供が皆無でしたので、在籍校、または通級指導先から情報提供があると良いと思います。」(10代/男性/知的障害)

「特別支援学校高等部を卒業するのにあたって、運動部で楽しく体を動かしてきた習慣を停止することになることを心配しています。また、同じような友人たちとの交流も途絶えてしまうことも心配です。同じような人たちと、体を動かしたり、話したりできる場を月に一回でも持てるとういなと願っています。」(10代/男性/知的障害)

④障害理解

「心のバリアフリーは目に見えないので改善するのは難しい。幼い頃からの環境、教育、触れ合いがあるかないかでかなり違ってくる。根本の意識改革、生まれつきだけではなく自分自身になりうるかもしれない障害。理解しているといかないのでは、受け入れ方が全く違うと思う。」(10代/男性/知的障害、ダウン症、視覚障害)

「障害者が生き生きと暮らしていくためには、周囲の理解が何よりも必要であると思う。福祉サービスを充実して下さるのも嬉しいが、人々が健常、障害を問わずに共成(生)していくために、小・中・高と学校内における障害児との交流、ともに学ぶ機会を更に増やしてほしい。」(10歳未満/男性/ダウン症)

「義務教育のうちに弱者に対する(障がいでなく)指導をすべき。高齢者やホームレス、障がい(さまざまな)児・者、等。弱者に優しい社会は自分にも優しいはず。自分も

いつ弱者の側に立場が変わるか分からない、ということ、教えるべきと思います。」(10代／女性／知的障害、自閉症・自閉傾向)

⑤将来

「障害者の親です。親子で年を重ね、親なき後が心配です。入所施設、グループホームを文京区内に設置してください。よろしくお願いします。」(30代／女性／知的障害、音声・言語・そしゃく障害、肢体不自由)

「親がいなくなったら(病気や事故等)どうなってしまうんだろう、そう思うのは私だけではないと思います。昔よりも制度が充実してきているのだとは思いますが、将来を考えるととても不安です。親や介助者がいなくても安心して生活していける街であってほしいと願います。」(10代／男性／知的障害)

「親がいなくなったあとがしんぱいです。すぐには入れるグループホームを作ってほしいとかんがえています。こんらんして親がいなくなるとこんらんしてしまいそうです。いえのちかくにグループホームをぜひ作ってください。ひとりで生活がしたいです。」(20代／女性／知的障害、てんかん)

⑥雇用・就労

「企業の障害者枠が広くなり、雇用される事例が増えてきましたが、受け入れ体制は整ってないと感じられます。障害者たちは傷つき、二次障害をかかえこむことになります。」(20代／男性／知的障害)

「知的障害者は、身体的に障害のある方よりも就職が難しい。また、企業側も、障害者を1人より短い時間2人をやとう傾向とも聞きます。就職できても、一般の人と比べはるかに少額の給料となることが多い。」(10代／女性／知的障害)

「長男21才は現在働いています。就職できたのはよかったのですが、職場での、知的障害者の理解度は低く、何回か、直接説明しに行ってもなかなか難しい問題もでてきて、非常に大変な思いを、親子でしました。社会全体において、もう少し理解して頂ける事を望んでいます。」(20代／男性／知的障害)

「区役所や、区関連施設での障害者雇用を促進してほしい。」(20代／男性／知的障害、自閉症・自閉傾向)

⑦障害・疾患

「ご本人は加齢により、身体の機能低下、筋力の衰えが進んでいるため、ちょっとした転倒でも骨折しやすく、歩行不安が強いことから車イス使用の生活をしております。言葉がなく、手を求めたり表情でコミュニケーションをとっていることから、介助者である生活支援員が解答させていただきました。」(60代／女性／知的障害、音声・言語そしゃく障害)

「多動系発達障害の子供に対する理解は得られにくいです。というか、大変さが伝わらなく、『親は何やってんだ』と映りがちです。手をつなげない、止まれない、集中できない、目が合わない、等。そういう子供がいるという事を周知してもらわないと、いつまでも社

会は冷たいまんまです。」(10歳未満／男性／知的障害、自閉症・自閉傾向)

⑧情報・相談

「障害者支援や、福祉の情報に関して、全てを把握できる状況ではないのが現実です。今の世の中、SNS、メール等でのコミュニケーション、情報収集が一般的になっています。今後は、希望者には、メール等で、情報を流していただくよう、お願いします。」(20代／男性／肢体不自由、その他)

「本人が大人になった時、自分で相談に来て、たどたどしいながらも何か話したら、色々プランニングしたり、言わばホテルのコンシェルジュのように、その子にとって最適なサービスの組合せを提案したり、手続きしたり。それを少し先の事を見越して行ってくれる部署があれば、親として少し安心です。」(10代／女性／知的障害、自閉症・自閉傾向)

「民間のことになってしまうと、全ての情報がつかみきれていないというのが現在の文京区の状態だと思います。やはり文京区の福祉課に聞けば何でも教えてくれる、というぐらいに頼りのあるものになって欲しいです。」(10代／男性／知的障害、自閉症・自閉傾向)

⑨生活環境

「エレベーターの設置が少ない。茗荷谷駅の改札付近と、茗荷谷駅付近の街灯が夜、暗く、歩くのに健康な人でも不便を感じます。もっと道を明るくしてほしい。明るくないので治安面でも不安です。道路がでこぼこしているのできれいに舗装してほしい。」(年齢不明／女性／知的障害、てんかん)

⑩保健・医療

「医療を受けることが困難です。特に耳鼻科、眼科です。大変な思いをして病院に連れていっても、適切な診察を受けることが、できません。練習で慣れることもあるので、障害者口腔センターのような病院があると助かります。」(10代／男性／知的障害、自閉症・自閉傾向)

「心の病気の対処で病院からだされる薬の量におどろかされ、薬がなければ眠れないという状態にいる子供が心配です。」(年齢不明／男性／知的障害)

⑪その他

「プール好きの子供に水泳を習わせたいが、文京スポーツセンターのプールでも、障害児対象の水泳教室を増やしてほしい。要介護ほどではないので、保護者の付きそいなしの障害児のクラスがあるといい。」(10歳未満／男性／自閉症・自閉傾向)

「疑うことを知らない子たちは、犯罪にまきこまれることや、詐欺にあうのではと、多くの親が心配しています。東日本大震災のような災害が東京に起こった場合、自宅から離れた学校、職場の通勤、通学中の避難の心配、不安も多くの親が抱えています。」(10代／女性／知的障害)